Pioneer sound.vision.soul

ビデオカード

PDA-5003
PDA-5004

取扱説明書

「据付工事」について

● 本機は十分な技術･技能を有する専門業者が据付けを行うことを前提に販売されているものです。据付け･取付けは必ず工事専門業者または販売店にご依頼ください。

● なお、据付け･取付けの不備、誤使用、改造、天災などによる事故損傷については、弊社は一切責任を負いません。

販売店様へ

この取扱説明書は据え付け終了後お客様に必ずお渡しして、取り扱い方法の説明を行ってください。

安全上のご注意

安全に正しくお使いいただくために

図記号について

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな図記号を使用しています。その記号と意味は次のようになっています。
内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を表しています。

⚠注意 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を表しています。

図記号の意味

△ 記号は注意（警告を含む）しなければならない内容です。
図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。

⃠ 記号は、やってはいけない（禁止）内容です。
図の中や近くに具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

● 記号は、必ず行っていただく（強制）内容です。
図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。

⚠警告

使用環境

本機の内部に水が入ったり、濡れたりしないようご注意ください。屋外や風呂場など、水場では使用しないでください。火災・感電の原因となります。

使用方法

本機の上に花びん、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器または小さな金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。

本機の端子などに金属類や燃えやすいものなど異物を差し込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。
特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

本機を分解したり、改造したりしないでください。火災・感電の原因となります。点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。

⚠注意

設置

窓を閉め切った自動車の中や、直射日光が当たる場所、エアコン・ヒーターの吹き出し口など、異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。熱による変形や、本機内部の部品に悪影響を与え、火災の原因となることがあります。

使用環境

本機を冷え切った状態のまま室内に持ち込んだり、急に室温を上げたりしますと、動作部に水滴が生じ（結露）、本機の性能を十分に発揮できなくなるばかりでなく、故障の原因となることがあります。このような場合はよく乾燥するまで放置するか、徐々に室温を上げてからご使用ください。

本機の特長

日本語

このたびは、パイオニアの製品をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。
この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。特に、「安全上のご注意」は必ずお読みください。
なお、「取扱説明書」は「保証書」と一緒に必ず保管してください。

本機はパイオニア製プラズマディスプレイPDP-607CMX/PDP-507CMX-JP/PDP-427CMX専用の拡張カードです。PDP-607CMX/PDP-507CMX-JP/PDP-427CMXはパソコン用モニターとして設計されていますが、本機を取り付けることにより、次のような機能が得られます。

1. S-ビデオ、コンポジットビデオ、コンポーネントビデオ、アナログRGB信号に対応した入力端子が追加されます。(INPUT3、INPUT4、INPUT5)
2. パソコン以外の多くのAV機器との接続が可能となります。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

D50-3-9-2-2_Ja

もくじ

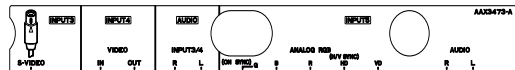
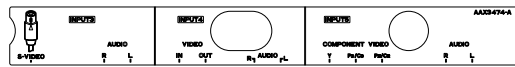
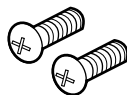
はじめに

付属品

以下の付属品をご確認ください。

① **リモコンラベル**
PDA-5003
S-VIDEO VIDEO RGB (BNC)

PDA-5004
S-VIDEO VIDEO COMPONENT

② **端子表示ラベル**
PDA-5003

PDA-5004

③ **ねじ×2**
（ビデオカード取付用予備ねじ）

- **取扱説明書（CD-ROM）**
- **スタートアップガイド**
- **保証書**

本書の使い方

本書は、本機をプラズマディスプレイに取り付けて使用される方にわかりやすいよう、作業と操作の順で説明しています。

ビデオカードを外箱から取り出し、付属品をすべて確認したあとは、本書およびプラズマディスプレイの取扱説明書4ページからの「各部の名称と機能」の章をご覧ください。本書の説明文ではボタンの名称が多く使われますので、事前にプラズマディスプレイの取扱説明書を参照し、プラズマディスプレイ本体とリモコンについて概略をご確認ください。

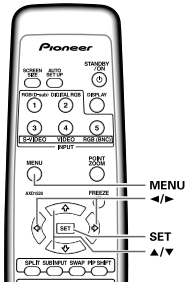
10ページからの「設置と接続」の章では、ビデオカードの取り付け方法やプラズマディスプレイとさまざまな機器との接続方法について、必要な情報が書かれています。

22ページからの「システムの設定」の章では、接続した機器に合わせてプラズマディスプレイが正しく動作するために必要な画面上の設定が書かれています。機器の接続方法によっては、この章は不要になる場合があります。

26ページからは、入力選択のような基本的な動作から、特定の機器や好みに合わせた映像の調整方法などの詳しい手順まで、さまざまな操作方法を説明します。

各項目のメニュー表示例

この取扱説明書に記載の画面イラストは、実際に表示される画面と異なる場合があります。

本書の操作について

各操作は、番号順に手順が説明されています。文中では、本体側にしかないものを除きすべてリモコンのボタンを使用しています。本体側にリモコンと同じかまたは類似の名称のボタンがあれば、同じように操作ができます。

以下は、「映像を調整する」の、実際の操作説明です。各手順の画面の例で、正しく操作したか確認できるようになっています。

映像と画面の調整

日本語

映像を調整する

リモコン

プラズマディスプレイ本体の操作パネル

1 MENUボタンを押して、メニュー画面にする

2 ▲/▼ボタンを押して、調整する項目を選び、SETボタンを押す

3 ◄/►ボタンを押して、好みの画質に調整する

4 SETボタンを押す
調整値がメモリーされ、手順2の画面に戻ります。

5 調整が終わったらMENUボタンを押して、通常画面に戻す

ご注意
この調整は、各入力（INPUT1～INPUT5）、および各信号ごとに行ってください。

「映像の調整」の調整項目
「映像の調整」から以下の項目を選択し調整します。

コントラスト ‥‥‥ 周囲の明るさに合わせて、見やすくなるようにする
明るさ ‥‥‥‥‥‥ 画面の暗い部分が見やすくなるようにする
色の濃さ ‥‥‥‥‥ 好みの濃さにする（やや濃いめに設定すると自然に見えます）
色あい ‥‥‥‥‥‥ 肌色がきれいに見えるようにする
シャープネス ‥‥‥ 通常はセンターでご使用ください。やわらかい感じを出したいときはセンターより左側に、シャープな感じにしたいときは右側に設定してください。

ご注意
パソコン信号入力時の映像の調整については、プラズマディスプレイの取扱説明書を参照してください。

「映像の調整」の調整内容を元の状態に戻すには
調整をしすぎたり映像が不自然になってしまったときは、調整を続けるよりも「映像の調整」の調整内容をいったん元の状態に戻した方がよい場合があります。

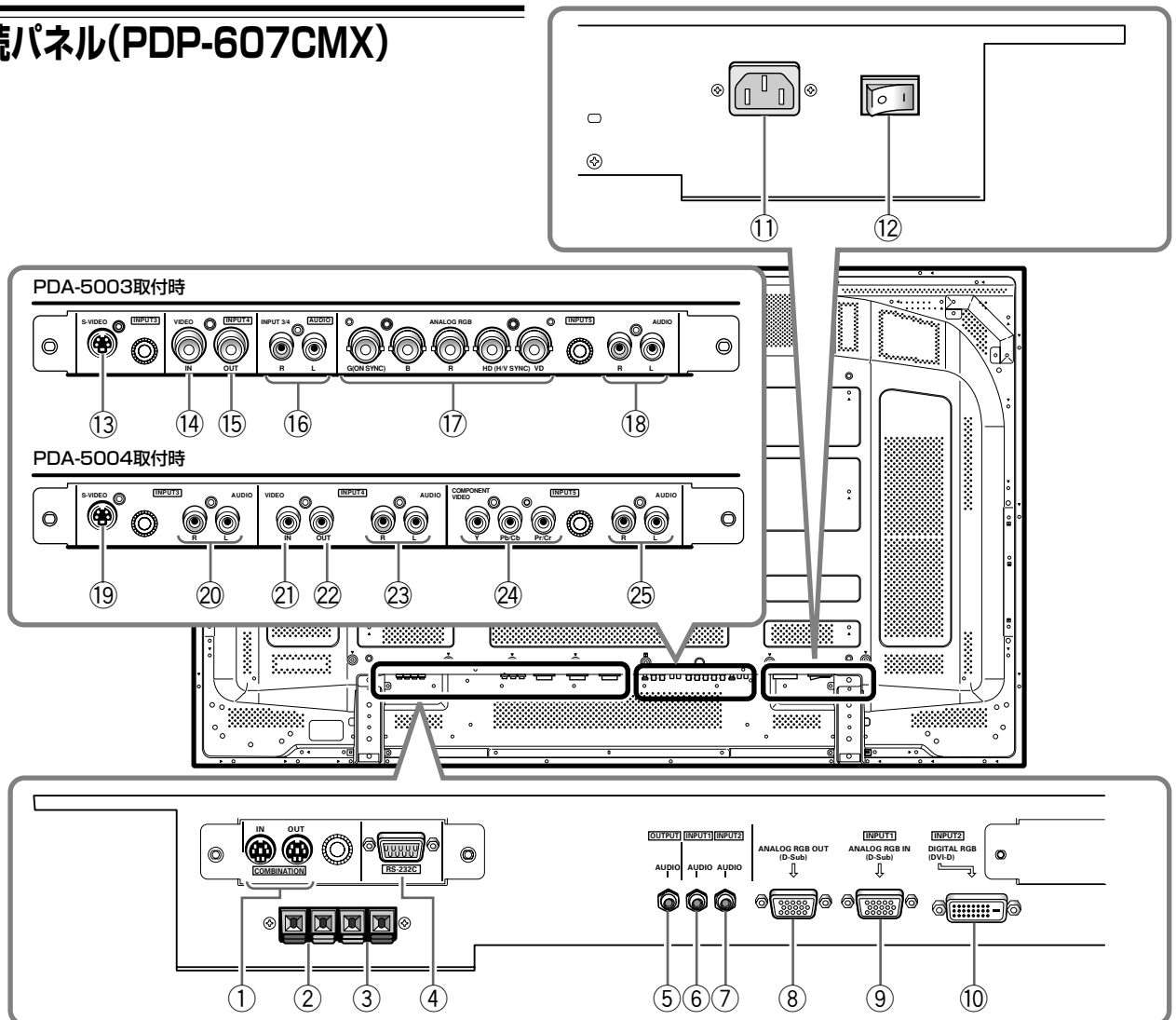
1 『映像を調整する』の手順2 で▲ / ▼ ボタンを押して、「映像の調整 リセット」を選び、SETボタンを押す

2 ◄/►ボタンを押して、「はい」を選び、SETボタンを押す
「映像の調整」の調整値はすべて工場出荷時の値に戻ります。

32
Ja

ご注意

本書に記載されている画面は、基本的な表示例です。

画面の表示項目や表示内容は、入力ソースや各種の設定状態によって変わります。

各部の名称と機能

接続パネル(PDP-607CMX)

プラズマディスプレイ部

プラズマディスプレイには2つの映像入力端子と1つの映像出力端子があります。また、音声入出力端子やスピーカー出力端子も備えています。
本機を取り付けると、映像入力端子が3つ増えて5つになり、映像出力端子が1つ増えて2つになります。
それぞれの接続方法は、(　)内のページまたはプラズマディスプレイの取扱説明書をご覧ください。

① COMBINATION IN/OUT
これらの端子に接続する際は必ず設置業者にお問い合わせください。
プラズマディスプレイ調整用の端子です。

② SPEAKER (R)
右側用外部スピーカー出力端子です。
インピーダンスが 6 Ω ～ 16 Ω のスピーカーを接続します。

③ SPEAKER (L)
左側用外部スピーカー出力端子です。
インピーダンスが 6 Ω～ 16 Ω のスピーカーを接続します。

④ RS-232C端子
この端子に接続する際は必ず設置業者にお問い合わせください。
プラズマディスプレイ調整用の端子です。

⑤ AUDIO (OUTPUT)（ステレオミニジャック）
プラズマディスプレイに接続した機器の音声をA V アンプなどの機器に出力するときに使います。
注：主電源(MAIN POWER)OFF時またはスタンバイ時は、AUDIO(OUTPUT)端子から音声は出力されません。(19ページ)

⑥ AUDIO (INPUT1)（ステレオミニジャック）
入力(映像)がINPUT1のときの音声入力です。
プラズマディスプレイのINPUT1に接続した機器の音声出力端子と接続します。(19ページ)

⑦ AUDIO (INPUT2) (ステレオミニジャック)
入力(映像)がINPUT2のときの音声入力です。
プラズマディスプレイのINPUT2に接続した機器の音声出力端子と接続します。(19ページ)

⑧ ANALOG RGB OUT (INPUT1)(ミニD-sub 15ピン)
外部モニターなどの機器に出力するときに使います。
注：主電源(MAIN POWER)「OFF」時またはスタンバイ時は、ANALOG RGB OUT (INPUT1)端子から映像信号は出力されません。(15ページ)

⑨ ANALOG RGB IN (INPUT1) (ミニD-sub 15ピン)
パソコンやRGBデコーダなどのRGB出力、またはDVDレコーダーなどのコンポーネント出力を持つ機器を接続します。接続した機器の信号出力方式と接続方法が正しく行われているか確認してください。
(11〜16ページ)

⑩ DIGITAL RGB (INPUT2) (DVI-D端子)
パソコン(PC)などの機器を接続します。
ＤＶＩ端子を持つＡＶ機器(ＨＤＣＰ対応)を接続できます。

⑪ AC IN
プラズマディスプレイに付属の電源コードを使用して、AC電源に接続します。

⑫ MAIN POWER スイッチ
プラズマディスプレイの主電源の入／切をします。

本機(ビデオカード<PDA-5003>)部

ビデオカードには３つの映像入力端子と、１つの映像出力端子、2つの音声入力端子があります。
それぞれの接続方法は(　)内のページをご覧ください。

⑬ S-VIDEO (INPUT3) (Sビデオ端子)
ビデオデッキ、ビデオカメラ、レーザーディスクプレーヤー、ＤＶＤレコーダーなどの、Ｓ映像出力を持つ機器を接続します。(17ページ)

⑭ VIDEO IN (INPUT4) (BNC端子)
ビデオデッキ、ビデオカメラ、レーザーディスクプレーヤー、DVDレコーダーなどのコンポジット映像出力を持つ機器と接続します。(17ページ)

⑮ VIDEO OUT (INPUT4) (BNC端子)
外部モニターなどの機器に出力するときに使います。
注：主電源(MAIN POWER)「OFF」時またはスタンバイ時は、VIDEO OUT(INPUT4)端子から映像信号は出力されません。(17ページ)

⑯ AUDIO R/L (INPUT3/4) (RCAピンジャック)
入力(映像)がINPUT3またはINPUT4のときの音声入力です。
本機のINPUT3またはINPUT4に接続した機器の音声出力端子と接続します。(20ページ)

⑰ ANALOG RGB (INPUT5) (BNC端子)
パソコンやRGBデコーダなどのRGB出力、またはDVDレコーダーなどのコンポーネント出力を持つ機器を接続します。接続した機器の信号出力方式と接続方法が正しく行われているか確認してください。
(11〜16ページ)

⑱ AUDIO R/L (INPUT5) (RCAピンジャック)
入力(映像)がINPUT5のときの音声入力です。
本機のINPUT5に接続した機器の音声出力端子と接続します。(19ページ)

本機(ビデオカード<PDA-5004>)部

ビデオカードには３つの映像入力端子と、１つの映像出力端子、3つの音声入力端子があります。
それぞれの接続方法は(　)内のページをご覧ください。

⑲ S-VIDEO (INPUT3) (Sビデオ端子)
ビデオデッキ、ビデオカメラ、レーザーディスクプレーヤー、ＤＶＤレコーダーなどの、Ｓ映像出力を持つ機器を接続します。(17ページ)

⑳ AUDIO R/L (INPUT3) (RCAピンジャック)
入力(映像)がINPUT3のときの音声入力です。
本機のINPUT3に接続した機器の音声出力端子と接続します。(20ページ)

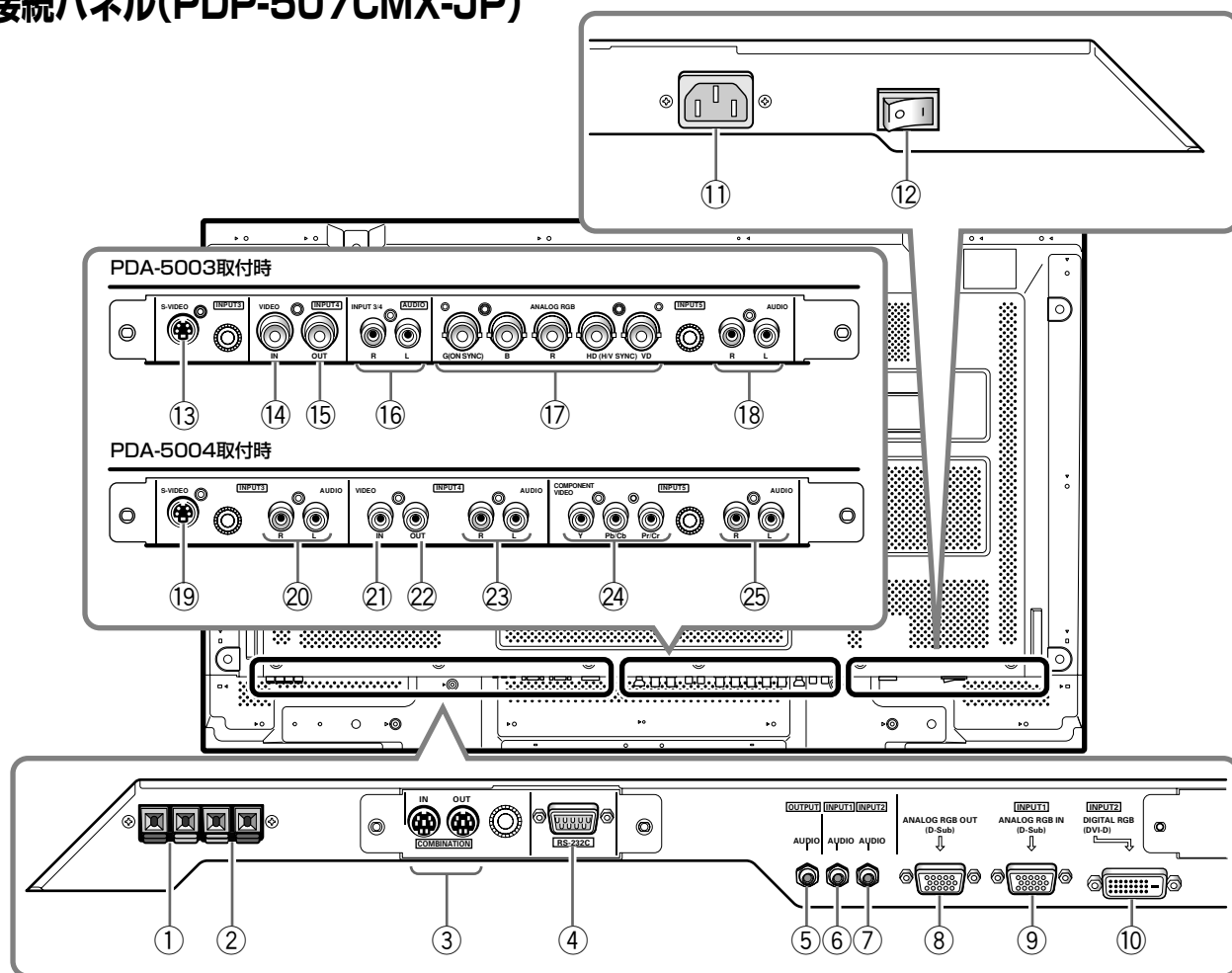
㉑ VIDEO IN (INPUT4) (RCAピンジャック)
ビデオデッキ、ビデオカメラ、レーザーディスクプレーヤー、ＤＶＤレコーダーなどのコンポジット映像出力を持つ機器と接続します。(17ページ)

㉒ VIDEO OUT (INPUT4) (RCAピンジャック)
外部モニターなどの機器に出力するときに使います。
注：主電源(MAIN POWER)「OFF」時またはスタンバイ時は、VIDEO OUT (INPUT4)端子から映像信号は出力されません。(17ページ)

㉓ AUDIO R/L (INPUT4) (RCAピンジャック)
入力(映像)がINPUT4のときの音声入力です。
本機のINPUT4に接続した機器の音声出力端子と接続します。(20ページ)

㉔ COMPONENT VIDEO (INPUT5) (RCAピンジャック)
DVDレコーダーなどのコンポーネント出力を持つ機器を接続します。(11〜16ページ)

㉕ AUDIO R/L (INPUT5) (RCAピンジャック)
入力(映像)がINPUT5のときの音声入力です。
本機のINPUT5に接続した機器の音声出力端子と接続します。(19ページ)

接続パネル(PDP-507CMX-JP)

プラズマディスプレイ部

プラズマディスプレイには2つの映像入力端子と1つの映像出力端子があります。また、音声入出力端子やスピーカー出力端子も備えています。
本機を取り付けると、映像入力端子が3つ増えて5つになり、映像出力端子が1つ増えて2つになります。
それぞれの接続方法は、(　)内のページまたはプラズマディスプレイの取扱説明書をご覧ください。

① SPEAKER (R)
右側用外部スピーカー出力端子です。
インピーダンスが 6 Ω ～ 16 Ω のスピーカーを接続します。

② SPEAKER (L)
左側用外部スピーカー出力端子です。
インピーダンスが 6 Ω～ 16 Ω のスピーカーを接続します。

③ COMBINATION IN/OUT
これらの端子に接続する際は必ず設置業者にお問い合わせください。
プラズマディスプレイ調整用の端子です。

④ RS-232C端子
この端子に接続する際は必ず設置業者にお問い合わせください。
プラズマディスプレイ調整用の端子です。

⑤ AUDIO (OUTPUT) (ステレオミニジャック)
プラズマディスプレイに接続した機器の音声をAVアンプなどの機器に出力するときに使います。
注：主電源(MAIN POWER)OFF時またはスタンバイ時は、AUDIO(OUTPUT)端子から音声は出力されません。(19ページ)

⑥ AUDIO (INPUT1) (ステレオミニジャック)
入力(映像)がINPUT1のときの音声入力です。
プラズマディスプレイのINPUT1に接続した機器の音声出力端子と接続します。(19ページ)

⑦ AUDIO (INPUT2) (ステレオミニジャック)
入力(映像)がINPUT2のときの音声入力です。
プラズマディスプレイのINPUT2に接続した機器の音声出力端子と接続します。(19ページ)

⑧ ANALOG RGB OUT (INPUT1)(ミニD-sub 15ピン)
外部モニターなどの機器に出力するときに使います。
注:主電源(MAIN POWER)「OFF」時またはスタンバイ時は、ANALOG RGB OUT (INPUT1)端子から映像信号は出力されません。(15ページ)

⑨ ANALOG RGB IN (INPUT1) (ミニD-sub 15ピン)
パソコンやRGBデコーダなどのRGB出力、またはDVDレコーダーなどのコンポーネント出力を持つ機器を接続します。接続した機器の信号出力方式と接続方法が正しく行われているか確認してください。
(11〜16ページ)

⑩ DIGITAL RGB (INPUT2) (DVI-D端子)
パソコン(PC)などの機器を接続します。
ＤＶＩ端子を持つＡＶ機器(ＨＤＣＰ対応)を接続できます。

⑪ AC IN
プラズマディスプレイに付属の電源コードを使用して、AC電源に接続します。

⑫ MAIN POWER スイッチ
プラズマディスプレイの主電源の入/切をします。

本機(ビデオカード<PDA-5003>)部

ビデオカードには3つの映像入力端子と、1つの映像出力端子、2つの音声入力端子があります。
それぞれの接続方法は( )内のページをご覧ください。

⑬ S-VIDEO (INPUT3) (Sビデオ端子)
ビデオデッキ、ビデオカメラ、レーザーディスクプレーヤー、DVDレコーダーなどの、S映像出力を持つ機器を接続します。(17ページ)

⑭ VIDEO IN (INPUT4) (BNC端子)
ビデオデッキ、ビデオカメラ、レーザーディスクプレーヤー、DVDレコーダーなどのコンポジット映像出力を持つ機器と接続します。(17ページ)

⑮ VIDEO OUT (INPUT4) (BNC端子)
外部モニターなどの機器に出力するときに使います。
注:主電源(MAIN POWER)「OFF」時またはスタンバイ時は、VIDEO OUT(INPUT4)端子から映像信号は出力されません。(17ページ)

⑯ AUDIO R/L (INPUT3/4) (RCAピンジャック)
入力(映像)がINPUT3またはINPUT4のときの音声入力です。
本機のINPUT3またはINPUT4に接続した機器の音声出力端子と接続します。(20ページ)

⑰ ANALOG RGB (INPUT5) (BNC端子)
パソコンやRGBデコーダなどのRGB出力、またはDVDレコーダーなどのコンポーネント出力を持つ機器を接続します。接続した機器の信号出力方式と接続方法が正しく行われているか確認してください。
(11〜16ページ)

⑱ AUDIO R/L (INPUT5) (RCAピンジャック)
入力(映像)がINPUT5のときの音声入力です。
本機のINPUT5に接続した機器の音声出力端子と接続します。(19ページ)

本機(ビデオカード<PDA-5004>)部

ビデオカードには3つの映像入力端子と、1つの映像出力端子、3つの音声入力端子があります。
それぞれの接続方法は( )内のページをご覧ください。

⑲ S-VIDEO (INPUT3) (Sビデオ端子)
ビデオデッキ、ビデオカメラ、レーザーディスクプレーヤー、DVDレコーダーなどの、S映像出力を持つ機器を接続します。(17ページ)

⑳ AUDIO R/L (INPUT3) (RCAピンジャック)
入力(映像)がINPUT3のときの音声入力です。
本機のINPUT3に接続した機器の音声出力端子と接続します。(20ページ)

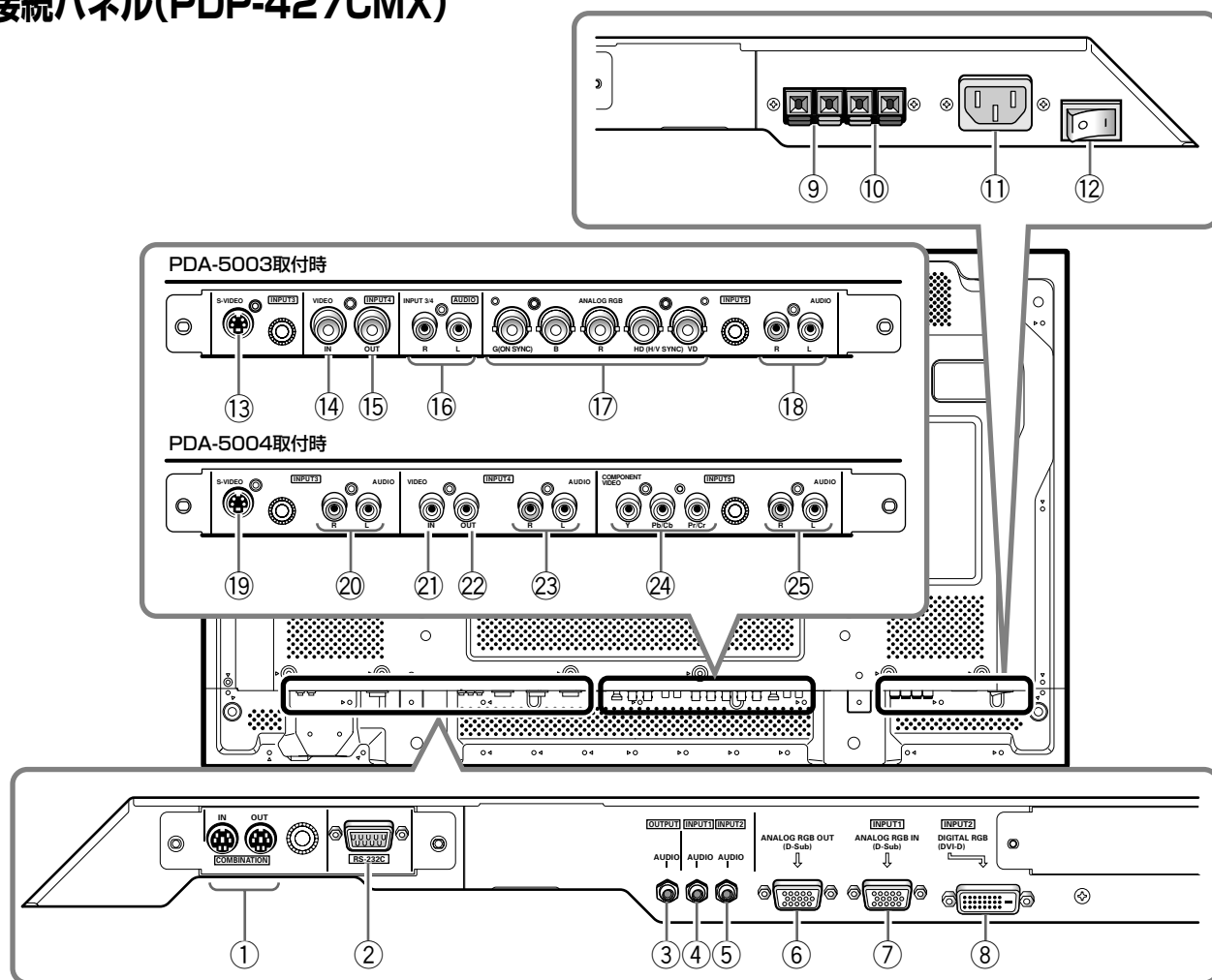
㉑ VIDEO IN (INPUT4) (RCAピンジャック)
ビデオデッキ、ビデオカメラ、レーザーディスクプレーヤー、ＤＶＤレコーダーなどのコンポジット映像出力を持つ機器と接続します。(17ページ)

㉒ VIDEO OUT (INPUT4) (RCAピンジャック)
外部モニターなどの機器に出力するときに使います。
注:主電源(MAIN POWER)「OFF」時またはスタンバイ時は、VIDEO OUT (INPUT4)端子から映像信号は出力されません。(17ページ)

㉓ AUDIO R/L (INPUT4) (RCAピンジャック)
入力(映像)がINPUT4のときの音声入力です。
本機のINPUT4に接続した機器の音声出力端子と接続します。(20ページ)

㉔ COMPONENT VIDEO (INPUT5) (RCAピンジャック)
DVDレコーダーなどのコンポーネント出力を持つ機器を接続します。(11〜16ページ)

㉕ AUDIO R/L (INPUT5) (RCAピンジャック)
入力(映像)がINPUT5のときの音声入力です。
本機のINPUT5に接続した機器の音声出力端子と接続します。(19ページ)

接続パネル(PDP-427CMX)

プラズマディスプレイ部

プラズマディスプレイには2つの映像入力端子と1つの映像出力端子があります。また、音声入出力端子やスピーカー出力端子も備えています。
本機を取り付けると、映像入力端子が3つ増えて5つになり、映像出力端子が1つ増えて2つになります。
それぞれの接続方法は、( )内のページまたはプラズマディスプレイの取扱説明書をご覧ください。

① COMBINATION IN/OUT
これらの端子に接続する際は必ず設置業者にお問い合わせください。
プラズマディスプレイ調整用の端子です。

② RS-232C端子
この端子に接続する際は必ず設置業者にお問い合わせください。
プラズマディスプレイ調整用の端子です。

③ AUDIO (OUTPUT) (ステレオミニジャック)
プラズマディスプレイに接続した機器の音声をAVアンプなどの機器に出力するときに使います。
注：主電源(MAIN POWER)OFF時またはスタンバイ時は、AUDIO(OUTPUT)端子から音声は出力されません。(19ページ)

④ AUDIO (INPUT1) (ステレオミニジャック)
入力(映像)がINPUT1のときの音声入力です。
プラズマディスプレイのINPUT1に接続した機器の音声出力端子と接続します。(19ページ)

⑤ AUDIO (INPUT2) (ステレオミニジャック)
入力(映像)がINPUT2のときの音声入力です。
プラズマディスプレイのINPUT2に接続した機器の音声出力端子と接続します。(19ページ)

⑥ ANALOG RGB OUT (INPUT1)(ミニD-sub 15ピン)
外部モニターなどの機器に出力するときに使います。
注：主電源(MAIN POWER)「OFF」時またはスタンバイ時は、ANALOG RGB OUT (INPUT1)端子から映像信号は出力されません。(15ページ)

⑦ ANALOG RGB IN (INPUT1) (ミニD-sub 15ピン)
パソコンやRGBデコーダなどのRGB出力、またはDVDレコーダーなどのコンポーネント出力を持つ機器を接続します。接続した機器の信号出力方式と接続方法が正しく行われているか確認してください。
(11～16ページ)

⑧ DIGITAL RGB (INPUT2) (DVI-D端子)
パソコン(PC)などの機器を接続します。
ＤＶＩ端子を持つＡＶ機器(ＨＤＣＰ対応)を接続できます。

⑨ SPEAKER (R)
右側用外部スピーカー出力端子です。
インピーダンスが 6 Ω ～ 16 Ω のスピーカーを接続します。

⑩ SPEAKER (L)
左側用外部スピーカー出力端子です。
インピーダンスが 6 Ω ～ 16 Ω のスピーカーを接続します。

⑪ AC IN
プラズマディスプレイに付属の電源コードを使用して、AC電源に接続します。

⑫ MAIN POWER スイッチ
プラズマディスプレイの主電源の入／切をします。

本機(ビデオカード<PDA-5003>)部

ビデオカードには3つの映像入力端子と、1つの映像出力端子、2つの音声入力端子があります。
それぞれの接続方法は( )内のページをご覧ください。

⑬ S-VIDEO (INPUT3) (Sビデオ端子)
ビデオデッキ、ビデオカメラ、レーザーディスクプレーヤー、DVDレコーダーなどの、S映像出力を持つ機器を接続します。(17ページ)

⑭ VIDEO IN (INPUT4) (BNC端子)
ビデオデッキ、ビデオカメラ、レーザーディスクプレーヤー、DVDレコーダーなどのコンポジット映像出力を持つ機器と接続します。(17ページ)

⑮ VIDEO OUT (INPUT4) (BNC端子)
外部モニターなどの機器に出力するときに使います。
注：主電源(MAIN POWER)「OFF」時またはスタンバイ時は、VIDEO OUT(INPUT4)端子から映像信号は出力されません。(17ページ)

⑯ AUDIO R/L (INPUT3/4) (RCAピンジャック)
入力(映像)がINPUT3またはINPUT4のときの音声入力です。
本機のINPUT3またはINPUT4に接続した機器の音声出力端子と接続します。(20ページ)

⑰ ANALOG RGB (INPUT5) (BNC端子)
パソコンやRGBデコーダなどのRGB出力、またはDVDレコーダーなどのコンポーネント出力を持つ機器を接続します。接続した機器の信号出力方式と接続方法が正しく行われているか確認してください。
(11～16ページ)

⑱ AUDIO R/L (INPUT5) (RCAピンジャック)
入力(映像)がINPUT5のときの音声入力です。
本機のINPUT5に接続した機器の音声出力端子と接続します。(19ページ)

本機(ビデオカード<PDA-5004>)部

ビデオカードには3つの映像入力端子と、1つの映像出力端子、3つの音声入力端子があります。
それぞれの接続方法は( )内のページをご覧ください。

⑲ S-VIDEO (INPUT3) (Sビデオ端子)
ビデオデッキ、ビデオカメラ、レーザーディスクプレーヤー、DVDレコーダーなどの、S映像出力を持つ機器を接続します。(17ページ)

⑳ AUDIO R/L (INPUT3) (RCAピンジャック)
入力(映像)がINPUT3のときの音声入力です。
本機のINPUT3に接続した機器の音声出力端子と接続します。(20ページ)

㉑ VIDEO IN (INPUT4) (RCAピンジャック)
ビデオデッキ、ビデオカメラ、レーザーディスクプレーヤー、DVDレコーダーなどのコンポジット映像出力を持つ機器と接続します。(17ページ)

㉒ VIDEO OUT (INPUT4) (RCAピンジャック)
外部モニターなどの機器に出力するときに使います。
注：主電源(MAIN POWER)「OFF」時またはスタンバイ時は、VIDEO OUT (INPUT4)端子から映像信号は出力されません。(17ページ)

㉓ AUDIO R/L (INPUT4) (RCAピンジャック)
入力(映像)がINPUT4のときの音声入力です。
本機のINPUT4に接続した機器の音声出力端子と接続します。(20ページ)

㉔ COMPONENT VIDEO (INPUT5) (RCAピンジャック)
DVDレコーダーなどのコンポーネント出力を持つ機器を接続します。(11～16ページ)

㉕ AUDIO R/L (INPUT5) (RCAピンジャック)
入力(映像)がINPUT5のときの音声入力です。
本機のINPUT5に接続した機器の音声出力端子と接続します。(19ページ)

プラズマディスプレイへの取り付け

お客様へ

この製品は十分な技術･技能を有する専門業者が取り付けを行うことを前提に販売されています。

販売店様へ

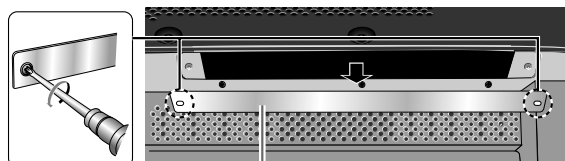
取り付けの手順は下記をご覧ください。
取り付けの際、万一ねじなどをプラズマディスプレイ内部に落とした場合は、すぐに最寄りのパイオニアサービスセンターまでご連絡ください。そのまま作業を続けると故障の原因になることがあります。本機はパイオニア製プラズマディスプレイPDP-607CMX/PDP-507CMX-JP/PDP-427CMXに取り付けて使用します。プラズマディスプレイへの取り付けは以下の手順に従ってください。

取り付けの前に次のことを確認してください。
- プラズマディスプレイに接続したパソコンまたはその他の機器を外してください。
- プラズマディスプレイの電源プラグをコンセントから抜いてください。

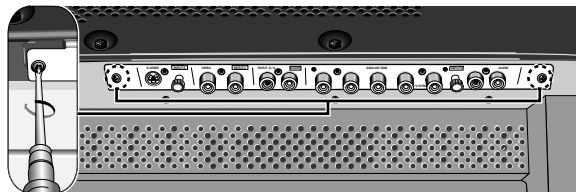
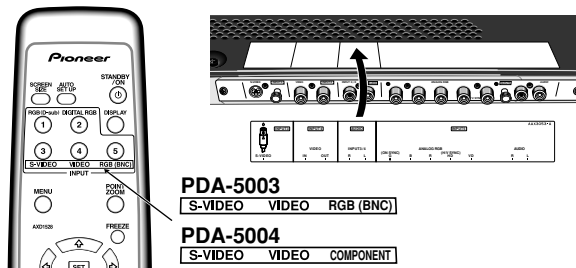
取り付けの際のご注意
- 取り付け部の保護カバーを開ける際は、開口部にねじなどを落とさないように注意してください。ディスプレイ内部にねじを落とすと故障の原因となることがあります。
- 取り付けの際、プラズマディスプレイの画面側を下にして寝かせておく場合は、水平な安定した場所に梱包用のマットや毛布などの柔らかいものを敷いておいてください。本体にキズがつかないよう、異物には十分注意してください。また前面パネル部のみに荷重をかけるような置き方は、決してしないでください。
- 本機はプラズマディスプレイPDP-607CMX/PDP-507CMX-JP/PDP-427CMX専用に設計されたビデオカードです。本機を改造したり、加工したりしないでください。誤動作する恐れがあります。
- 内部のユニット類をキズつけたり、加工したりしないでください。
- 取り付けの際には静電気対策を十分に行ってください。また部品や回路パターンには触れないように注意してください。
- 本機は再度、取り付けや取り外しができるように設計されていませんので、一度プラズマディスプレイに取り付けを行ったら取り外さないようにしてください。再度、取り付けや取り外しを行うと破損する恐れがあります。
- PDA-5003をご使用の際は、インピーダンス切り換えスイッチの設定が必要な場合があります。あらかじめご確認のうえ、取り付けてください。（14、16ページ）
- PDP-607CMX/PDP-507CMX-JP/PDP-427CMXには、PDA-5002を取り付けないでください。

取り付け方

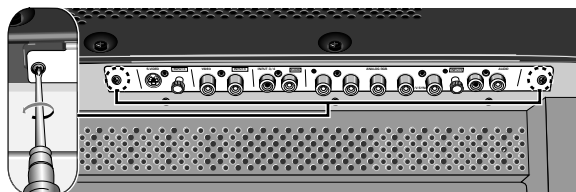
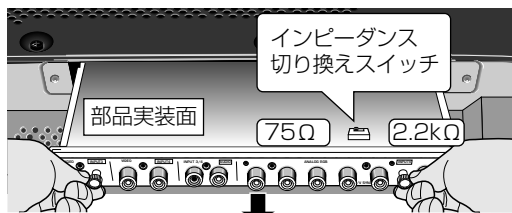
イラストはPDA-5003です。

1　プラズマディスプレイの端子部にあるビデオカード挿入口の保護カバーを外します。

2　開口部から見える両側のレールに沿って、ビデオカードを静かに、まっすぐ挿入します。

ご注意
- 本機の挿入には十分注意してください。部品実装面をプラズマディスプレイの背面カバー側に向け、必ずまっすぐ挿入してください。斜めに挿入したり、無理に挿入したりすると本機を破損したり、ディスプレイ本体側にキズをつけたりする場合があります。
- インピーダンス切り換えスイッチはPDA-5003にしかありません。

3　最後までしっかりとビデオカードが挿入されていることを確認してから、手順1 で外したねじを使ってしっかりと固定します。

4　付属の端子表示ラベルをプラズマディスプレイに貼り付けます。また付属のリモコンラベルをプラズマディスプレイに付属のリモコンに貼り付けます。

ご注意
ラベル貼付面のよごれなどは柔らかい布などできれいに拭き取ってください。

外し方（基本的には行わないでください）

1　ビデオカードを固定している両側のねじを外してください。

2　内側のツマミを持ってまっすぐ引いてビデオカードを抜いてください。

■ PDA-5003をご使用の場合

本機の入力端子について

下の表に従って機器の出力端子をプラズマディスプレイと本機の入力端子に接続します。
（11～20ページ）

接続する機器と信号 ＼ 本機の入力端子		INPUT 1*1	INPUT 2	INPUT 3	INPUT 4	INPUT 5*1
AV機器	アナログRGB	○				○
	コンポーネント映像	○				○
	S映像			○		
	コンポジット映像				○	
	デジタルRGB		○			
パソコン	アナログRGB	○*2				○
	S映像			○*3		
	コンポジット映像				○*3	
	デジタルRGB		○*4			

*1 INPUT1、5はさまざまな種類の信号に対応していますが、接続したあとは、それぞれの機器に合わせてシステムの設定（22～25ページ）を行ってください。

*2 INPUT1 はマイクロソフト社のPlug & Play（VESA DDC 1/2B）に対応しています。

*3 お使いのモニター出力ボードの種類によっては、出力できないことがあります。

*4 INPUT2はマイクロソフト社のPlug & Play（VESA DDC 2B）に対応しています。

INPUT1とINPUT5への接続

INPUT1とINPUT5はさまざまな機器が接続できます。接続のあとには、それぞれの機器に合わせて画面上の設定を行ってください。接続後の設定については22～25ページをご覧ください。

出力する機器 ＼ INPUT5端子	[ON SYNC] G	B	R	[H/V SYNC] HD	VD
RGB出力を持つビデオ機器 パソコン（PC）	○ G ON SYNC	○ B	○ R	×	×
	○ G	○ B	○ R	○ H/V SYNC	×
	○ G	○ B	○ R	○ HD	○ VD
コンポーネント映像出力を持つ映像機器	○ Y	○ PB/CB	○ PR/CR	×	×

×：何も接続しないでください。○：ここに接続してください。

お知らせ
INPUT1およびINPUT5で対応している機器は同一です。
INPUT1に接続の際は、プラズマディスプレイの取扱説明書を参照してください。

INPUT1、5で対応している信号および表示画面サイズについては51～55ページの付録1、付録2をご覧ください。

■ PDA-5004をご使用の場合

本機の入力端子について

下の表に従って機器の出力端子をプラズマディスプレイと本機の入力端子に接続します。
（11～20ページ）

接続する機器と信号 ＼ 本機の入力端子		INPUT 1*1	INPUT 2	INPUT 3	INPUT 4	INPUT 5*1
AV機器	アナログRGB	○				○
	コンポーネント映像	○				○
	S映像			○		
	コンポジット映像				○	
	デジタルRGB		○			
パソコン	アナログRGB	○*2				○
	S映像			○*3		
	コンポジット映像				○*3	
	デジタルRGB		○*4			

*1 INPUT1、5はさまざまな種類の信号に対応していますが、接続したあとは、それぞれの機器に合わせてシステムの設定（22～25ページ）を行ってください。

*2 INPUT1 はマイクロソフト社のPlug & Play（VESA DDC 1/2B）に対応しています。

*3 お使いのモニター出力ボードの種類によっては、出力できないことがあります。

*4 INPUT2はマイクロソフト社のPlug & Play（VESA DDC 2B）に対応しています。

INPUT1とINPUT5への接続

INPUT1とINPUT5はさまざまな機器が接続できます。接続のあとには、それぞれの機器に合わせて画面上の設定を行ってください。接続後の設定については22～25ページをご覧ください。

出力する機器 ＼ INPUT5端子	Y	PB/CB	PR/CR
RGB出力を持つビデオ機器 パソコン（PC）	○ G ON SYNC	○ B	○ R
コンポーネント映像出力を持つ映像機器	○ Y	○ PB/CB	○ PR/CR

○：ここに接続してください。

お知らせ
INPUT1に接続の際は、プラズマディスプレイの取扱説明書を参照してください。

INPUT1で対応している信号および表示画面サイズについては51～55ページの付録1、付録2をご覧ください。

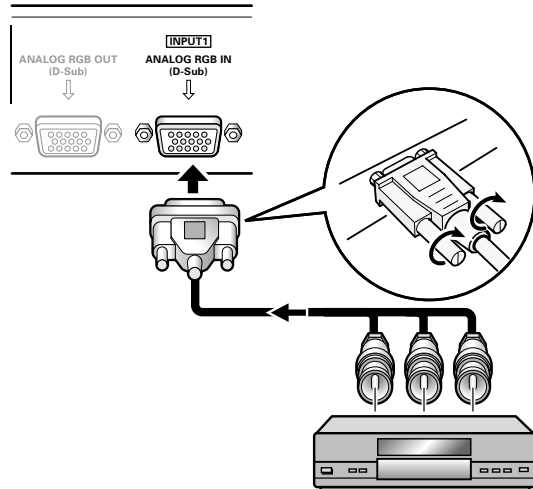
INPUT1またはINPUT5への接続

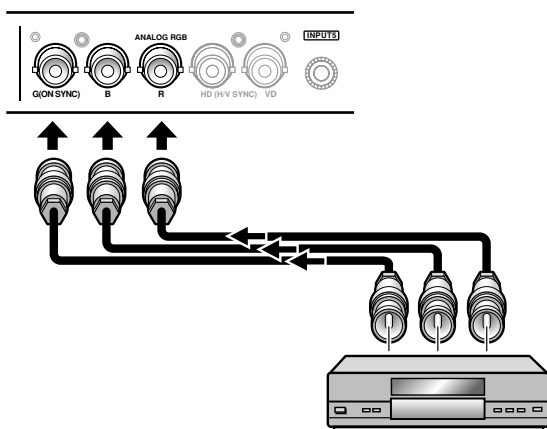
■ PDA-5003をご使用の場合

AV機器との接続

コンポーネント映像端子を持つAV機器の接続

コンポーネント映像出力を持つAV機器を、コンポーネント映像接続します。

ANALOG RGB IN（INPUT1）へ接続する場合

接続のあとは、画面上の設定が必要です。
22〜25ページをご覧ください。

ANALOG RGB（INPUT5）へ接続する場合

Y信号をG端子、PB/CB信号をB端子、PR/CR信号をR端子に接続してください。
接続のあとは、画面上の設定が必要です。
22〜25ページをご覧ください。

INPUT5はすべてBNC端子です。
接続の際は、必要に応じて、BNC/ピン変換アダプター（市販）をお使いください。

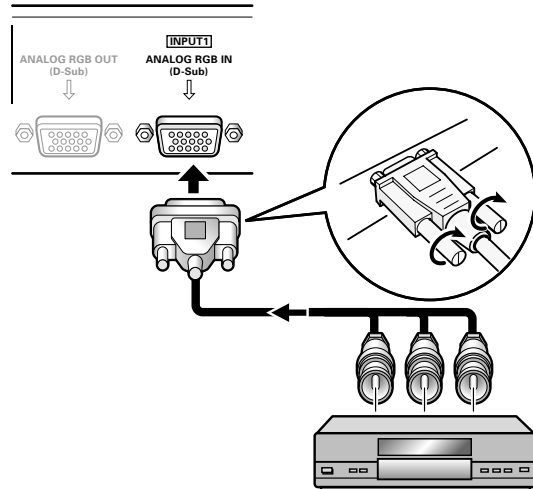
ご注意
プラズマディスプレイおよび本機は、信号レベルや同期信号が標準かつ安定なコンポーネント映像信号に対応しています。ＡＶ機器のトリックプレイ中に映像の乱れなとが発生する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

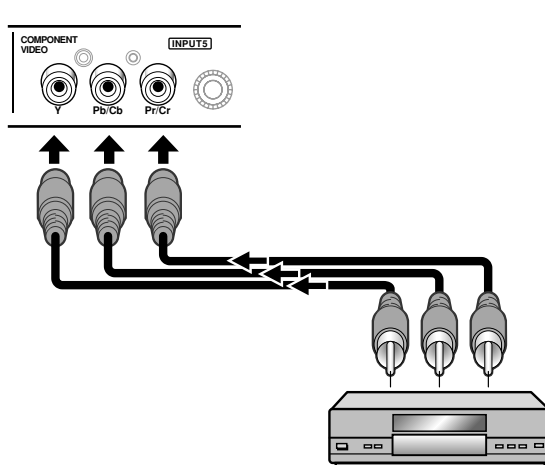
■ PDA-5004をご使用の場合

AV機器との接続

コンポーネント映像端子を持つAV機器の接続

コンポーネント映像出力を持つAV機器を、コンポーネント映像接続します。

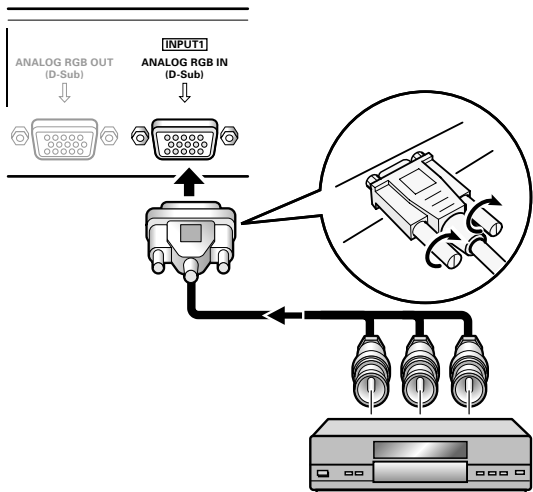
ANALOG RGB IN（INPUT1）へ接続する場合

接続のあとは、画面上の設定が必要です。
22〜25ページをご覧ください。

COMPONENT VIDEO（INPUT5）へ接続する場合

Y信号をY端子、PB/CB信号をPB/CB端子、PR/CR信号をPR/CR端子に接続してください。

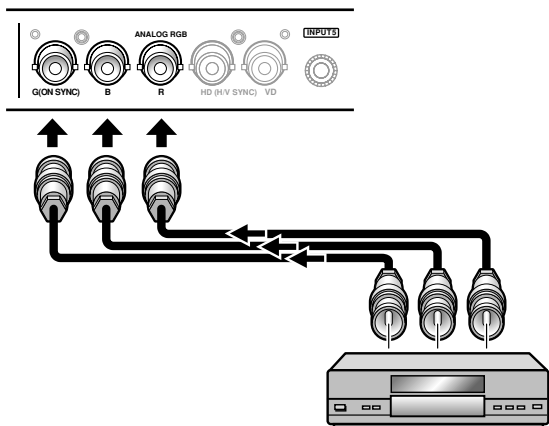
ご注意
プラズマディスプレイおよび本機は、信号レベルや同期信号が標準かつ安定なコンポーネント映像信号に対応しています。ＡＶ機器のトリックプレイ中に映像の乱れなとが発生する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

G ON SYNCアナログRGB機器の接続

緑信号に同期信号が組み合わされた出力を持つ機器を、G ON SYNC接続します。

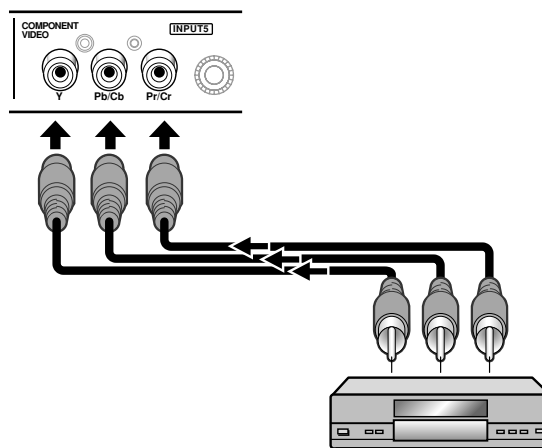
ANALOG RGB IN (INPUT1) へ接続する場合

接続のあとは、画面上の設定が必要です。
22～25ページをご覧ください。

ANALOG RGB (INPUT5) へ接続する場合

[PDA-5003の場合のみ]

接続のあとは、画面上の設定が必要です。
22～25ページをご覧ください。

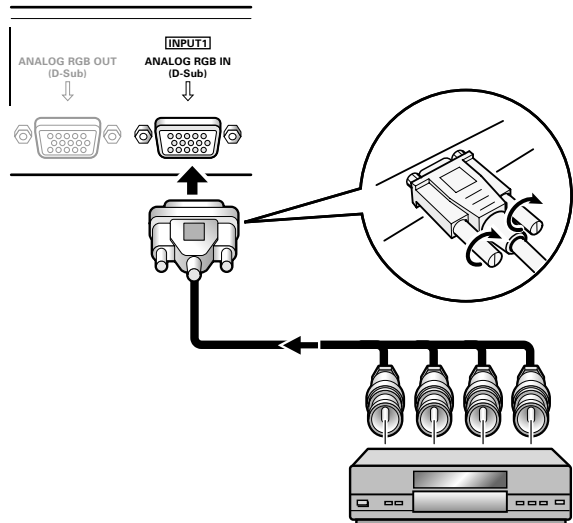
ご注意
G ON SYNC接続を行った場合は、VD端子やHD端子には何も接続しないでください。接続すると画面が正常に表示されない場合があります。

COMPONENT VIDEO (INPUT5) へ接続する場合

[PDA-5004の場合のみ]

G ON SYNC信号をY端子、B信号をPB/CB端子、R信号をPR/CR端子に接続してください。

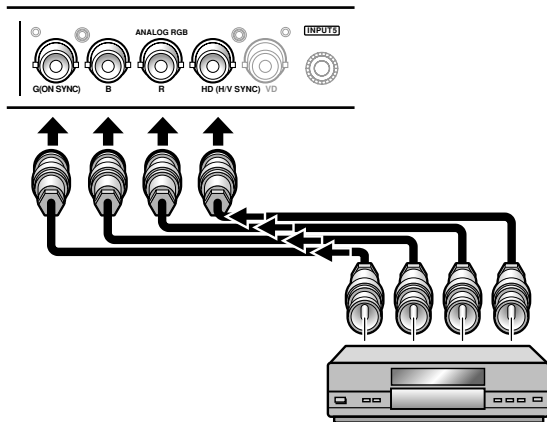
接続のあとは、画面上の設定が必要です。
22～25ページをご覧ください。

コンポジットSYNCアナログRGB機器の接続

水平同期信号と垂直同期信号が組み合わされた出力を持つ機器を、コンポジットSYNC接続します。

ANALOG RGB IN (INPUT1) へ接続する場合

接続のあとは、画面上の設定が必要です。
22～25ページをご覧ください。

ANALOG RGB (INPUT5) へ接続する場合

［PDA-5003の場合のみ］

INPUT5入力を使うときは、接続する機器の同期信号の出力インピーダンスに合わせてインピーダンス切り換えスイッチを設定してください。
接続する機器の同期信号の出力インピーダンスが75 Ω以下のときは、本機を外し、切り換えスイッチを75 Ωに設定してください。（10ページ）

接続のあとは、画面上の設定が必要です。
22～25ページをご覧ください。

ご注意
コンポジットSYNC接続を行った場合は、VD端子には何も接続しないでください。接続すると画面が正常に表示されなくなる場合があります。

パソコンとの接続

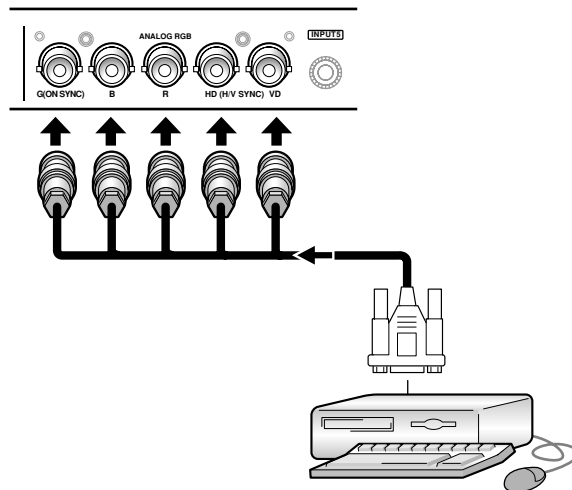
パソコンの種類によって接続方法が異なります。
接続の際は、お使いのパソコンの取扱説明書をよくお読みください。

接続する前に、パソコンとプラズマディスプレイの主電源が切れていることをご確認ください。

本機で対応しているパソコン信号および表示画面サイズは、プラズマディスプレイの取扱説明書を参照してください。

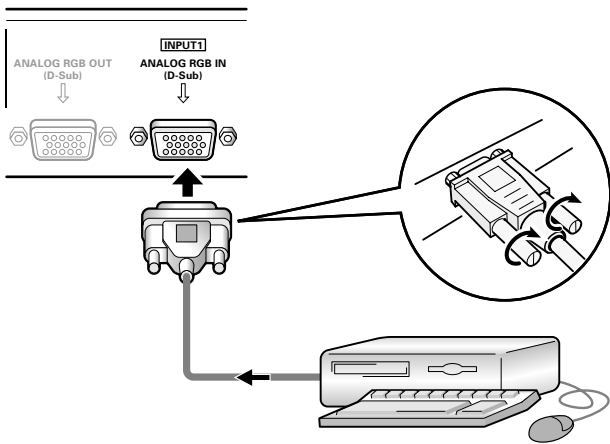
セパレートSYNCアナログ RGB機器の接続

赤、緑、青、水平同期、垂直同期の5つの信号に分離したRGB出力を持つパソコンを、セパレートSYNC接続します。

ANALOG RGB (INPUT5) へ接続する場合

［PDA-5003の場合のみ］

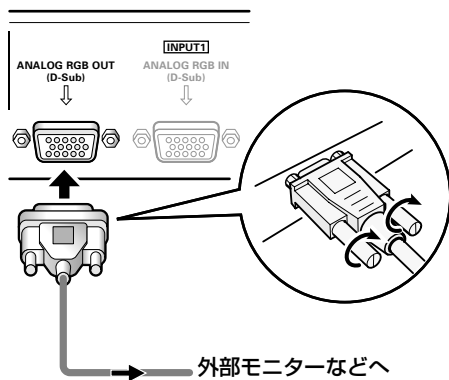
INPUT5入力を使うときは、接続するパソコンの同期信号の出力インピーダンスに合わせてインピーダンス切り換えスイッチを設定してください。
接続するパソコンの同期信号の出力インピーダンスが75 Ω以下のときは、本機を外し、切り換えスイッチを75 Ωに設定してください。（10ページ）

接続のあとは、画面上の設定が必要です。
22～25ページをご覧ください。

ANALOG RGB IN (INPUT1) へ接続する場合

プラズマディスプレイの入力端子とパソコンの出力端子の形状に合ったケーブルをお使いください。
また、ねじでしっかりとそれぞれの端子に固定してください。

接続のあとは、画面上の設定が必要です。
22～25ページをご覧ください。

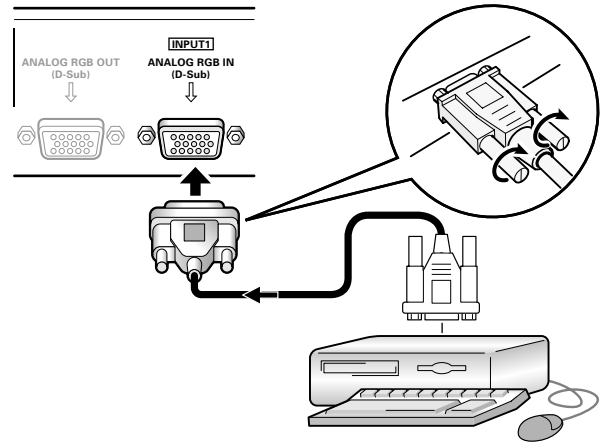
ご注意
接続するパソコンの種類によっては、パソコンに付属または別売りの変換コネクターやアダプターが必要になる場合があります。詳しくはお使いのパソコンに付属の取扱説明書をお読みになるか、パソコンの製造元または取扱店にお尋ねください。

ANALOG RGB OUT (INPUT1) へ接続する場合

ANALOG RGB OUT (INPUT1)端子は、モニターなど映像入力が可能な機器との接続に使います。

ご注意
主電源（MAIN POWER）「OFF」時またはスタンバイ時は、ANALOG RGB OUT (INPUT1)端子から映像信号は出力されません。

G ON SYNCアナログRGB機器の接続

緑信号に同期信号が組み合わされた出力を持つパソコンを、G ON SYNC接続します。

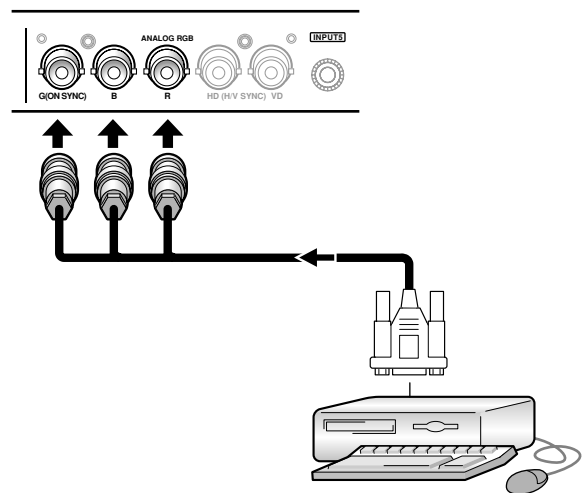
ANALOG RGB IN (INPUT1) へ接続する場合

接続のあとは、画面上の設定が必要です。
22～25ページをご覧ください。

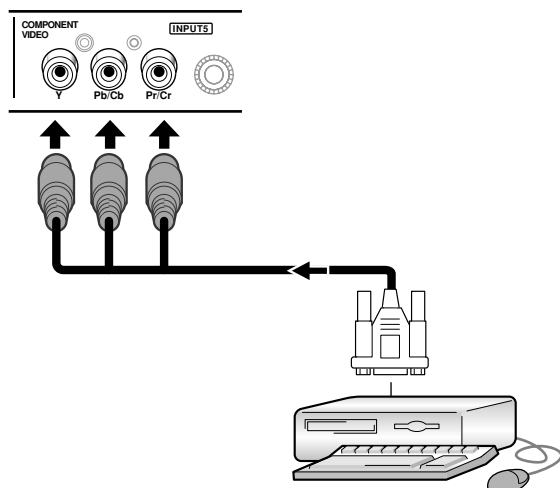
ANALOG RGB (INPUT5) へ接続する場合

[PDA-5003の場合のみ]

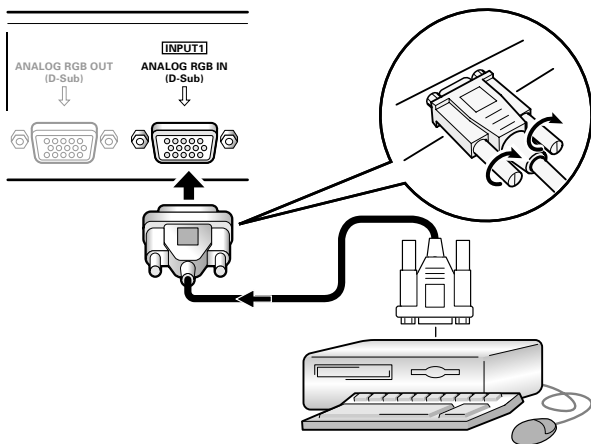
接続のあとは、画面上の設定が必要です。
22～25ページをご覧ください。

ご注意
G ON SYNC接続を行った場合は、VD端子やHD端子には何も接続しないでください。接続すると画面が正常に表示されない場合があります。

日本語

COMPONENT VIDEO (INPUT5) へ接続する場合

［PDA-5004の場合のみ］

接続のあとは、画面上の設定が必要です。
22～25ページをご覧ください。

コンポジットSYNCアナログRGB機器の接続

水平同期信号と垂直同期信号が組み合わされた出力を持つパソコンを、コンポジットSYNC接続します。

ANALOG RGB IN (INPUT1) へ接続する場合

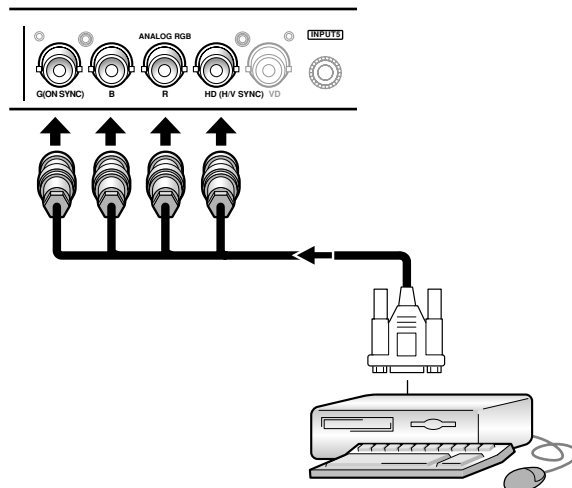
接続のあとは、画面上の設定が必要です。
22～25ページをご覧ください。

ANALOG RGB (INPUT5) へ接続する場合

［PDA-5003の場合のみ］

ＩＮＰＵＴ５入力を使うときは、接続するパソコンの同期信号の出力インピーダンスに合わせてインピーダンス切り換えスイッチを設定してください。
接続するパソコンの同期信号の出力インピーダンスが75 Ω以下のときは、本機を外し、切り換えスイッチを75 Ωに設定してください。（10ページ）

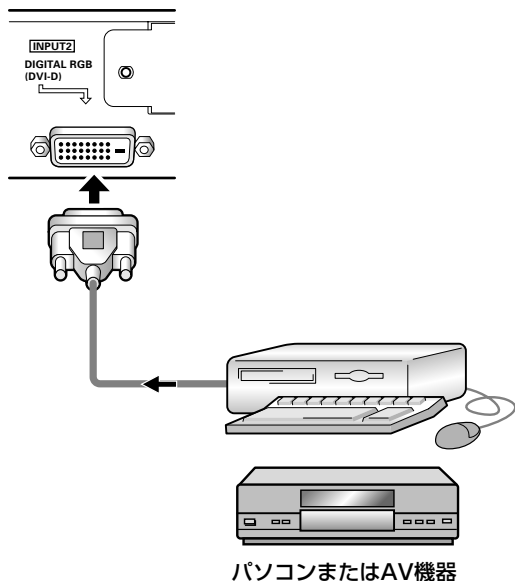
接続のあとは、画面上の設定が必要です。
22～25ページをご覧ください。

ご注意

- コンポジットSYNC接続を行った場合は、VD端子には何も接続しないでください。接続すると画面が正常に表示されなくなる場合があります。
- Apple Computer社の一部の機種では、G ON SYNCとコンポジットSYNCの両方の出力を持つものがあります。これらの機種については G ON SYNC接続(15ページ)を行ってください。

設置と接続

INPUT2への接続

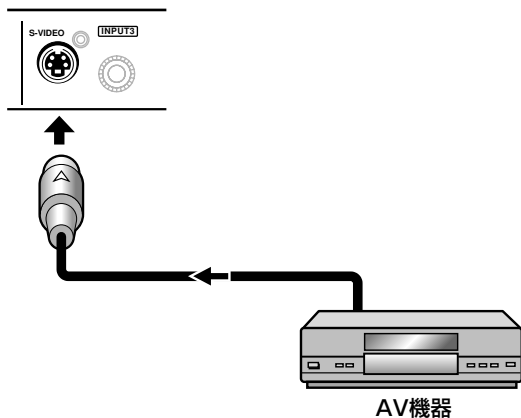
DVI出力(デジタルRGB信号)を持つパソコンまたはDVI出力を持つAV機器を、プラズマディスプレイのDVI端子に接続します。

パソコンまたはAV機器

接続のあとは画面上の設定が必要です。
22〜25ページをご覧ください。

ご注意
接続にはDVI-D24ピン(Digitalのみ)のケーブルを使用してください。

お知らせ
- INPUT2はマイクロソフト社のPlug & Play (VESA DDC 2B)に対応しています。
- INPUT2で対応している信号および表示画面サイズについてはプラズマディスプレイの取扱説明書を参照してください。

INPUT3への接続

S映像出力を持つAV機器を、本機のS-VIDEO (INPUT3)端子に接続します。

AV機器

INPUT4への接続

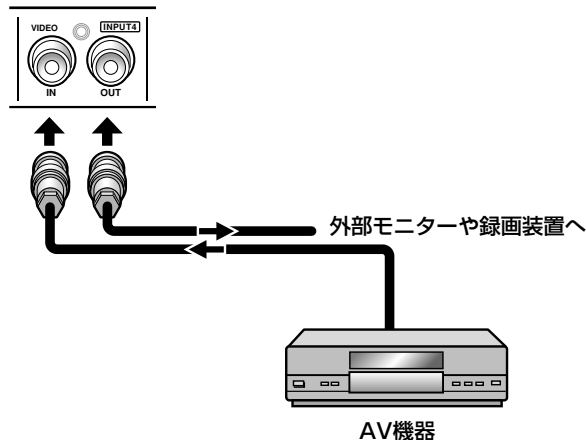
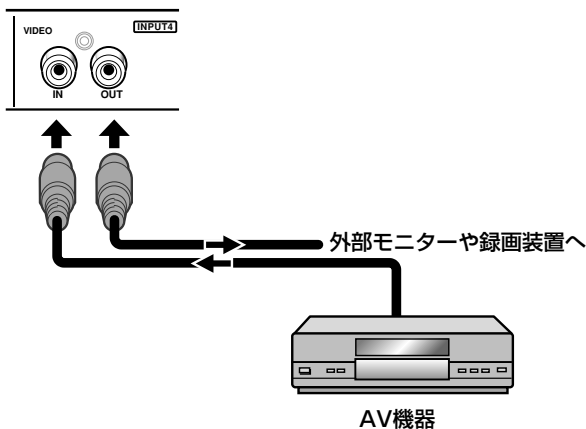
映像出力を持つAV機器を、本機のINPUT4に接続します。VIDEO OUT (INPUT4) 端子は、モニターや録画装置など映像入力が可能な機器との接続に使います。

ご注意
主電源(MAIN POWER)「OFF」時またはスタンバイ時は、VIDEO OUT (INPUT4) 端子から映像信号は出力されません。

[PDA-5003の場合]

AV機器

[PDA-5004の場合]

AV機器

INPUT3、4ではNTSC、PAL、SECAM、4.43NTSC、PAL M、PAL Nのテレビ方式に対応しています。詳しくは49ページの「カラーシステムを設定する」を参照してください。

日本語

デジタル放送チューナーの接続について

正しく接続するために、地上デジタルチューナー、BS/CSデジタルチューナーに付属の取扱説明書を十分にお読みください。

プラズマディスプレイが対応している映像信号は下の表のとおりです。

映像信号の種類		映像信号フォーマット	映像信号方式	接続可能な端子				
				INPUT1	INPUT2	INPUT3	INPUT4	INPUT5
(アナログ)ハイビジョン		水平：33.75 kHz 垂直：60 Hz	コンポーネント	◎				◎
			RGB	◎				◎
デジタル放送	HDTV	1125i (1080i) 1125i (1035i) 750p (720p)	コンポーネント	◎				◎
			RGB	◎	◎			◎
	SDTV	525i (480i) 625i (575i)	コンポジット				◎	
			S映像			◎		
			コンポーネント	◎				◎
			RGB	◎				◎
		525p (480p) 625p (575p)	コンポーネント	◎				◎
			RGB	◎	◎			◎

設置と接続

オーディオ機器との接続

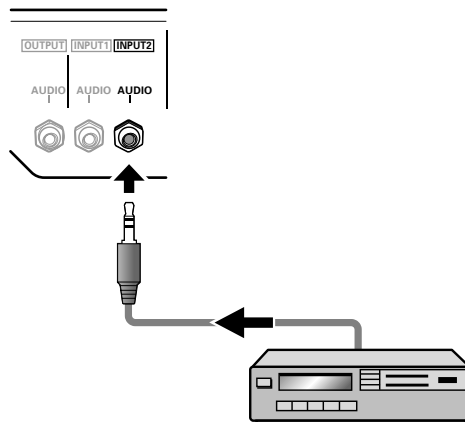
接続する前に、電源が切れていることを確認してください。

オーディオ機器をプラズマディスプレイと本機の音声入力端子に接続する

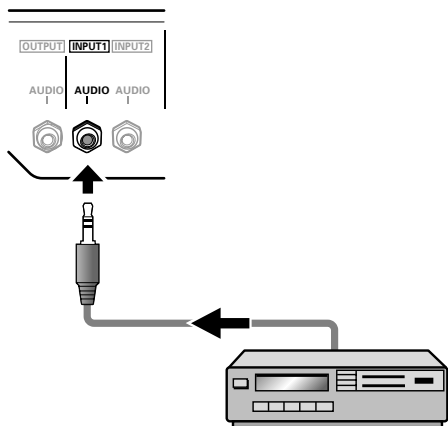
プラズマディスプレイと本機には4つまたは5つの音声入力端子と1つの音声出力端子があります。下の表は映像入力に対するそれぞれの音声入力接続を示しています。

映像入力	音声入力	音声出力
INPUT1	ステレオミニジャック(L/R)	選択した入力の音が ・スピーカー端子L/R ・ステレオミニジャック(L/R) から得られます。
INPUT2	ステレオミニジャック(L/R)	
INPUT5	ピンジャック(L/R)	
INPUT3	ピンジャック(L/R)＊[1]	
INPUT4	ピンジャック(L/R)＊[1]	

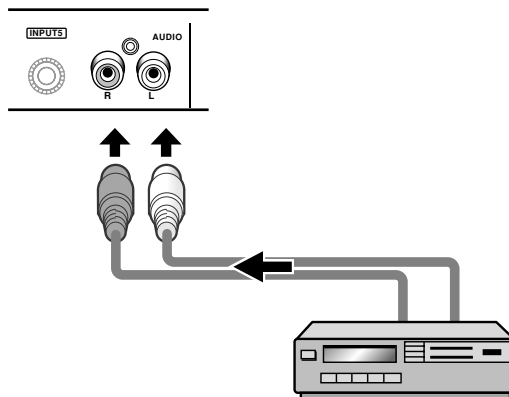
＊[1] PDA-5003をご使用の場合、INPUT3とINPUT4の音声入力端子は共用となります。

AV機器をINPUT2に接続した場合の音声接続

INPUT2につなぐ機器の音声は、AUDIO (INPUT2)端子のステレオミニジャック(L/R)につなぐことができます。

音声出力は選んだ入力に従って、AUDIO (OUTPUT)端子(ステレオミニジャック(L/R))と、スピーカー端子L/Rから得られます。

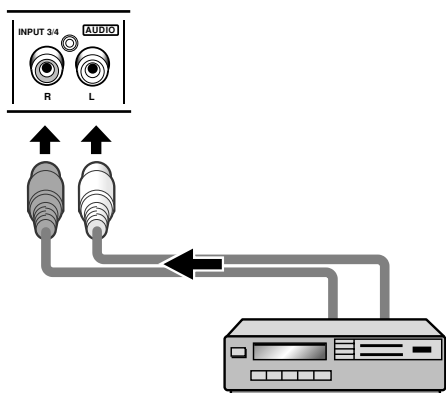
AV機器をINPUT1に接続した場合の音声接続

INPUT1につなぐ機器の音声は、AUDIO (INPUT1)端子のステレオミニジャック(L/R)につなぐことができます。

音声出力は選んだ入力に従って、AUDIO (OUTPUT)端子(ステレオミニジャック(L/R))と、スピーカー端子L/Rから得られます。

AV機器をINPUT5に接続した場合の音声接続

INPUT5につなぐ機器の音声は、AUDIO R/L(INPUT5)端子のピンジャック(L/R)につなぐことができます。

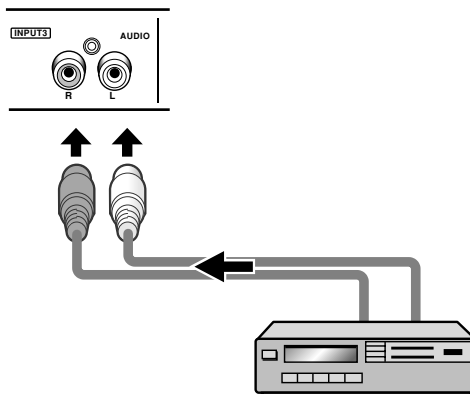
音声出力は選んだ入力に従って、AUDIO (OUTPUT)端子(ステレオミニジャック(L/R))と、スピーカー端子L/Rから得られます。

[PDA-5003の場合]

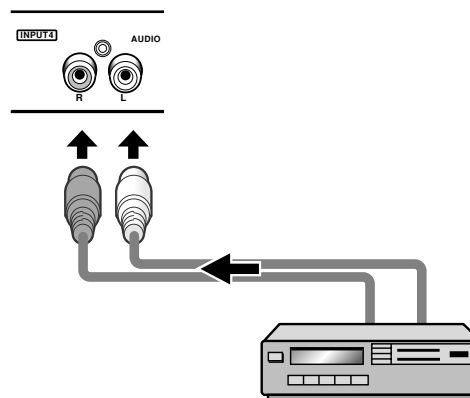
AV機器をINPUT3またはINPUT4に接続した場合の音声接続

INPUT3とINPUT4につなぐ機器の音声は、どちらか1つをAUDIO R/L(INPUT3/4)端子のピンジャック(L/R)につなぐことができます。

音声出力は選んだ入力に従って、AUDIO (OUTPUT)端子(ステレオミニジャック(L/R))と、スピーカー端子L/Rから得られます。

[PDA-5004の場合]

AV機器をINPUT3に接続した場合の音声接続

INPUT3につなぐ機器の音声は、AUDIO R/L(INPUT3)端子のピンジャック(L/R)につなぐことができます。

音声出力は選んだ入力に従って、AUDIO (OUTPUT)端子(ステレオミニジャック(L/R))と、スピーカー端子L/Rから得られます。

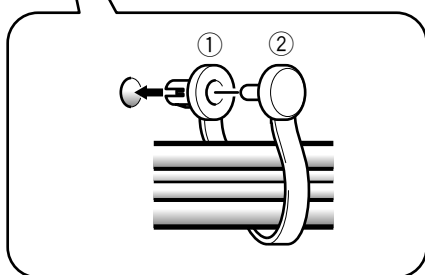
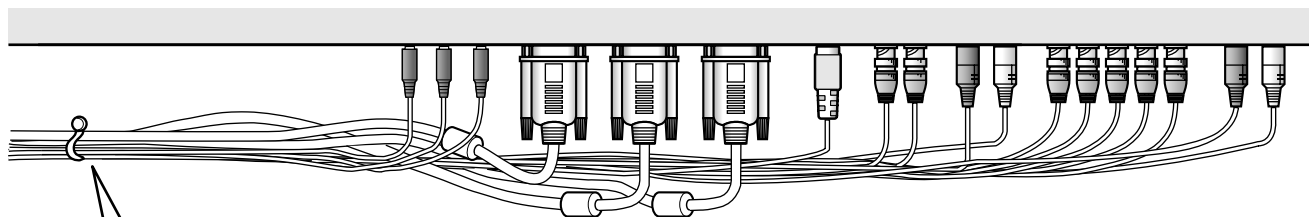
AV機器をINPUT4に接続した場合の音声接続

INPUT4につなぐ機器の音声は、AUDIO R/L(INPUT4)端子のピンジャック(L/R)につなぐことができます。

音声出力は選んだ入力に従って、AUDIO (OUTPUT)端子(ステレオミニジャック(L/R))と、スピーカー端子L/Rから得られます。

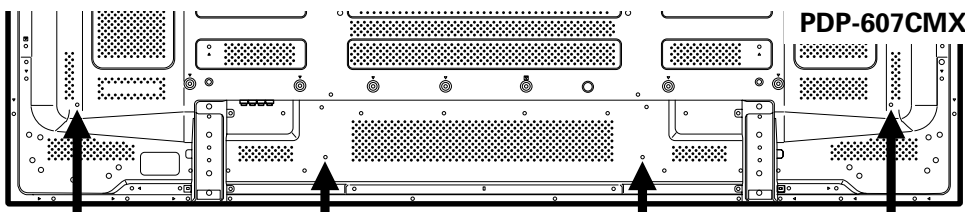
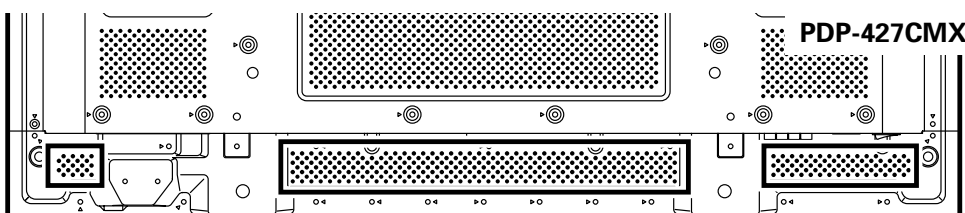
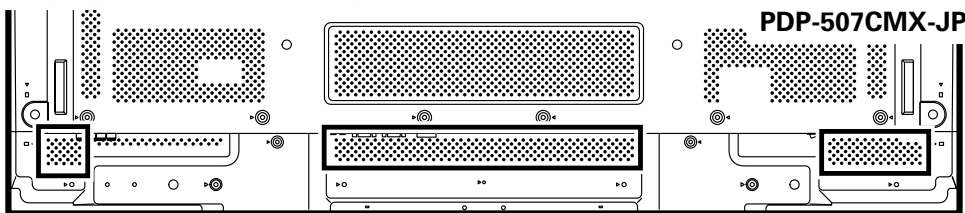
接続ケーブルの処理

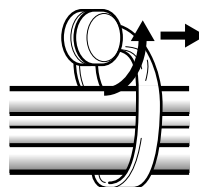
プラズマディスプレイには、ケーブルをまとめるためのスピードクランプが付属されています。
すべての接続が終わったら、以下の手順でケーブルをまとめます。

ビデオカード部のイラストはPDA-5003です。

＊ 本体を背面から見た図

スピードクランプを使ってケーブルを留める
①をリアケースの穴へ差し込んだあと、②を差し込みます。
スピードクランプは、一度留めると外しにくいため注意して取り付けてください。

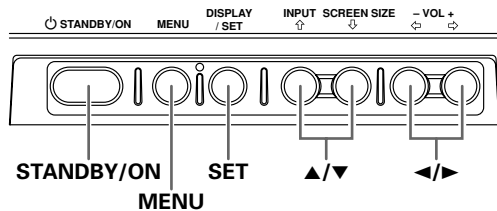
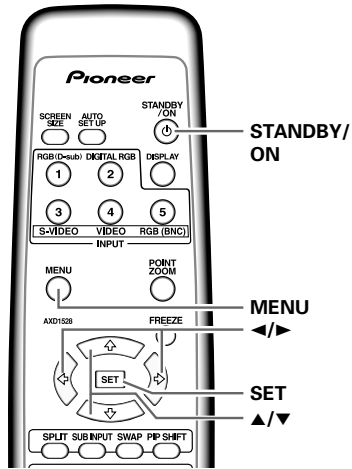
お知らせ
束ねたケーブルは左右どちらにもまとめられます。

スピードクランプをプラズマディスプレイに取り付けるには
○ 印の4つの部分の穴を状況に応じて使ってください。

□ 印の部分の穴を状況に応じて使ってください。

＊ 本体を背面から見た図

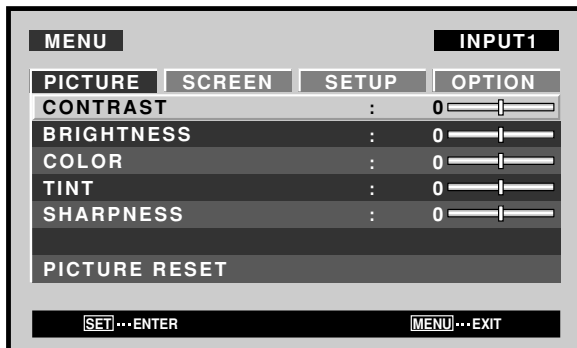
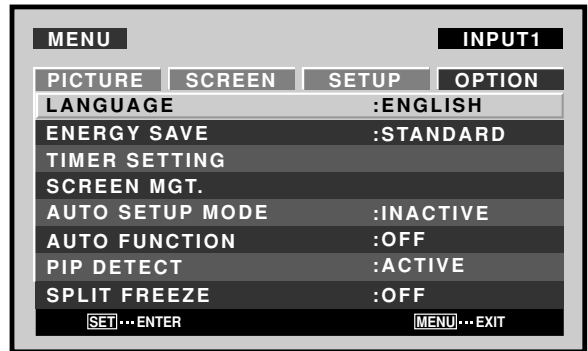
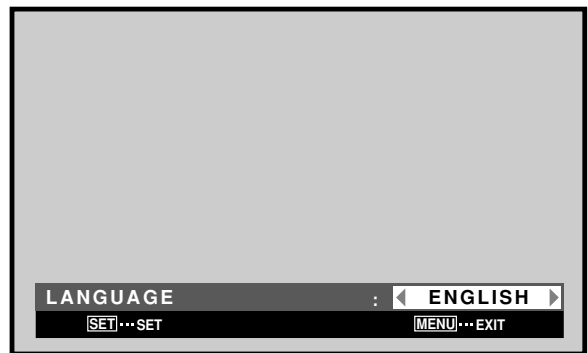
スピードクランプを外すには
ペンチでクランプを90度ねじり、外側へ引きます。
くり返しによって傷んでくると外すときに破損することがあります。

メニュー表示言語を設定する

メニュー表示言語の工場出荷時の設定は英語になっています。
日本語に変えるためには、画面上での設定が必要です。
以下の手順に従って、設定を行ってください。

リモコン

プラズマディスプレイ本体の操作パネル

1 **プラズマディスプレイ背面の接続パネルのMAIN POWERスイッチを押して、電源を入れる**
プラズマディスプレイ前面のSTANDBY/ONインジケーターが赤に点灯します。

2 **STANDBY/ONボタンを押して、プラズマディスプレイを動作状態にする**
プラズマディスプレイ前面のSTANDBY/ONインジケーターが緑に点灯します。

3 **MENUボタンを押して、メニュー画面にする**

4 **◄/►ボタンを押して、「OPTION」を選ぶ**

5 **▲/▼ボタンを押して、「LANGUAGE」を選び、SETボタンを押す**

6 **◄/►ボタンを押して、「日本語」を選ぶ**
◄/►ボタンを押すたびに、次のように切り換わります。

7 **SETボタンを押す**
言語が設定され、手順4の画面に戻ります。

8 **設定が終わったらMENUボタンを押して、通常画面に戻す**

ご注意
メニュー表示言語の設定はINPUT1〜INPUT5のいずれかで設定すると、入力に関係なく同じ表示言語に設定されます。

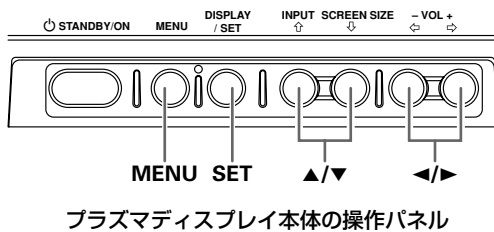
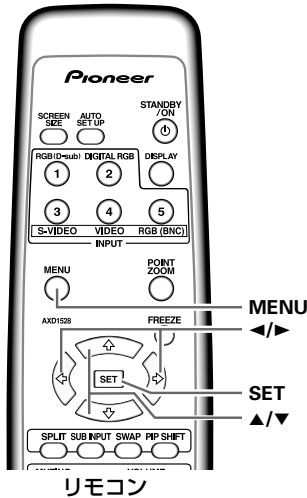
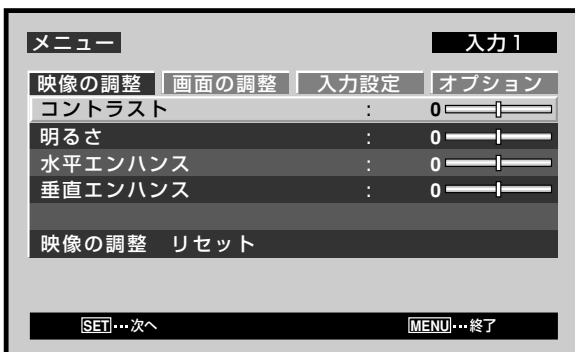
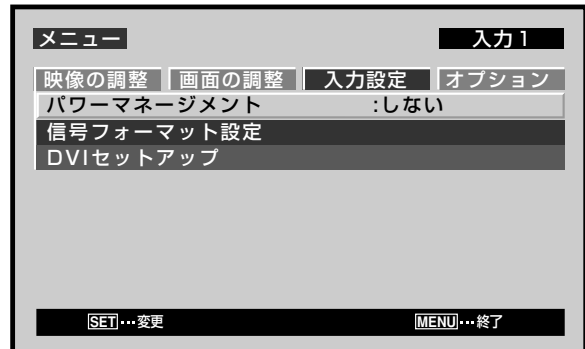
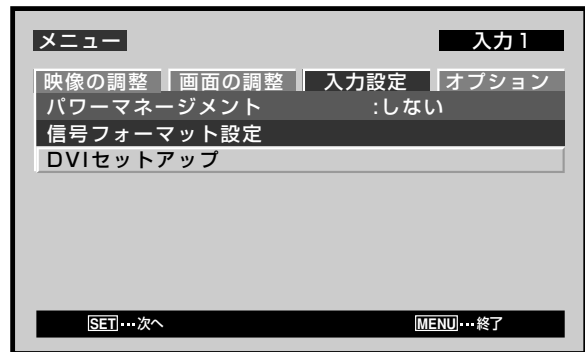
接続後の設定

INPUT1、INPUT2またはINPUT5の接続を行ったあとは、画面上での設定が必要です。
以下の手順に従って、接続した機器に合わせて設定を行ってください。

DVI選択の設定

INPUT2に接続する機器の種別を「PC」または「VIDEO」から選択します。

リモコン

プラズマディスプレイ本体の操作パネル

1 INPUT1を選ぶ
2 MENUボタンを押して、メニュー画面にする

3 ◄/►ボタンを押して、「入力設定」を選ぶ

4 ▲/▼ボタンを押して、「DVI　セットアップ」を選び、SETボタンを押す

5 ▲/▼ボタンを押して、「PLUG/PLAY」を選ぶ

6 SETボタンを押して、接続する機器の種別を選ぶ
工場出荷時は、「PC」に設定されています。
SETボタンを押すたびに、次のように切り換わります。

- PC .... パソコン信号接続時に設定します。この時、ブラックレベルは自動的に「低」に設定されます。
- VIDEO .... セットトップボックス、DVDなどを接続時に設定します。この時、ブラックレベルは自動的に「高」に設定されます。

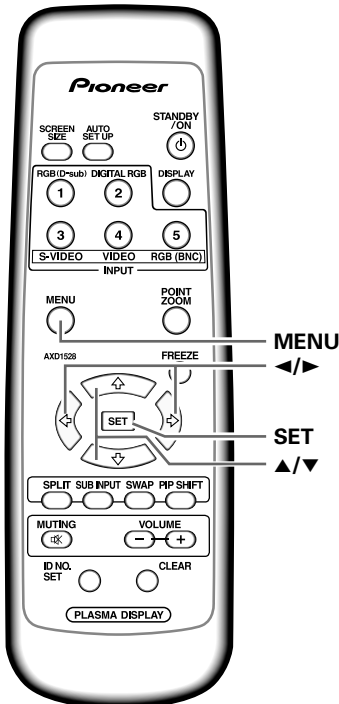
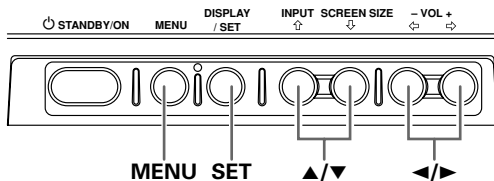
7 ▲/▼ボタンを押して、「ブラックレベル」を選ぶ

8 SETボタンを押して、「ブラックレベル」の設定を選ぶ
工場出荷時は、「低」に設定されています。
SETボタンを押すたびに、次のように切り換わります。

- 低 .... パソコン信号接続時に設定します。
- 高 .... セットトップボックス、DVDなどを接続時、黒色がグレーに見えるときに設定します。

9 設定が終わったらMENUボタンを押して、通常画面に戻す

ご注意
本設定完了後に、接続機器の電源をONにするか、または再起動(パソコンの場合)をしてください。接続機器の電源がONのまま本設定を変更しても、信号が出力されなかったり、本来の信号フォーマットで出力されない可能性があります。

信号フォーマット／色差選択の設定

リモコン

プラズマディスプレイ本体の操作パネル

1 INPUT1、INPUT2またはINPUT5を選ぶ

2 MENUボタンを押して、メニュー画面にする

3 ◄/►ボタンを押して、「入力設定」を選ぶ

4 ▲ / ▼ ボタンを押して、「信号フォーマット設定」を選び、SETボタンを押す

5 ◄/►ボタンを押して、入力する信号を選ぶ

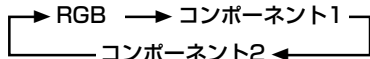
◄/►ボタンを押すたびに、次のように切り換わります。

- 自動 .... パソコン信号対応一覧表(52〜55ページ)のとおりに判別します。
- その他 .... 選択できる解像度が表示されます。

6　SETボタンを押す
　調整値がメモリーされ、手順4の画面に戻ります。

7　パソコン以外の機器を接続しているときは、▲/▼ボタンを押して「色差選択」を選ぶ(INPUT1またはINPUT5)

8　SETボタンをくり返し押して、入力する信号方式を選ぶ
　SETボタンを押すたびに、次のように切り換わります。

　→ RGB → コンポーネント1 → コンポーネント2 →（RGBへ戻る）

　以下の表で、接続に合った設定を確認してください。

「色差選択」の設定は以下のように行ってください。
誤った設定を行うと、プラズマディスプレイに悪影響を与える場合がありますので、ご注意ください。

入力設定の項目 / 接続した機器	色差選択
ＤＶＤプレーヤーなどのコンポーネント映像出力	コンポーネント1
ハイビジョン機器などのコンポーネント映像出力	コンポーネント2
デジタルチューナーなどのコンポーネント映像出力	コンポーネント2
RGB出力端子付きのビデオデッキなどのRGB映像出力	RGB
DVI出力端子付きAV機器のDVI映像出力	RGB
パソコンのRGB映像出力	設定できません

9　設定が終わったら、MENUボタンを押して、通常画面に戻す

ご注意
信号フォーマットの設定および色差選択の設定は、各入力(INPUT1、INPUT2またはINPUT5)ごとに行ってください。

操　作

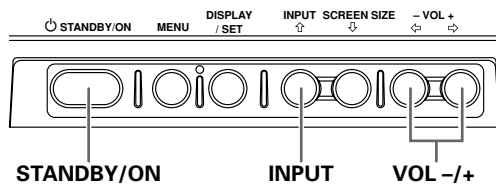
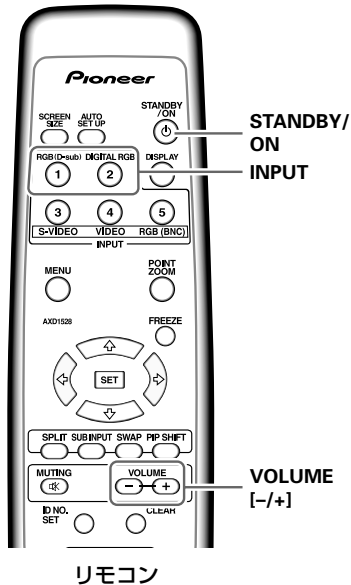
入力ソースを選ぶ

ここではプラズマディスプレイの基本的な操作方法を説明します。電源の入／切、動作状態とスタンバイ状態の切り換え、接続した機器の入力選択について記しています。

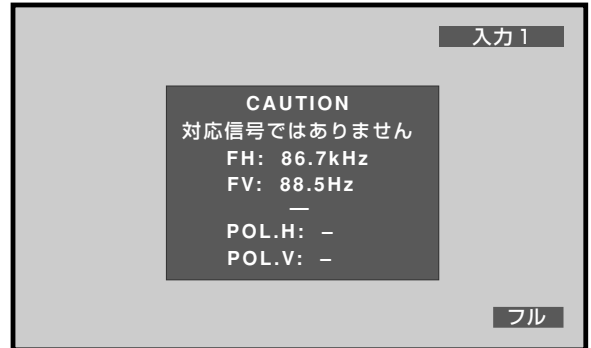
最初に確認してください

- 10ページからの「**設置と接続**」に従って、プラズマディスプレイとAV機器またはパソコンとが正しく接続されていること。
- 22ページからの「**システムの設定**」に従って、INPUT1、INPUT2またはINPUT5に接続した機器の入力信号に合わせて、画面上の設定が済ませてあること。これらの端子に何も接続していないときは画面上の設定は不要です。

リモコン

プラズマディスプレイ本体の操作パネル

1 **プラズマディスプレイ背面の接続パネルのMAIN POWERスイッチを押して、本機の電源を入れる**
プラズマディスプレイ前面のSTANDBY/ONインジケーターが赤に点灯します。

2 **STANDBY/ONボタンを押して、プラズマディスプレイを動作状態にする**
プラズマディスプレイ前面のSTANDBY/ONインジケーターが緑に点灯します。

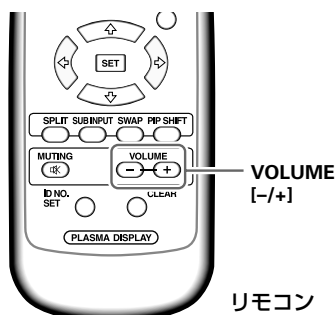
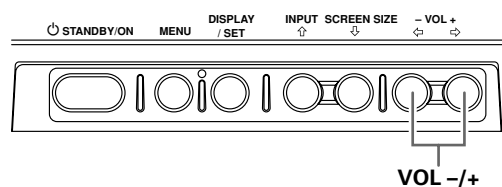
3 **INPUTボタンを押して、入力を選ぶ**
- メニュー画面の表示中、入力の切り換え動作を行うとメニュー画面はオフされます。
- プラズマディスプレイの対応外のパソコン信号が入力されたときは以下の表示が画面に出ます。

4 **VOLUME(＋/－)ボタンで音量を調節する**
音声を入力していないときは、この手順は不要です。

5 **調整が終わったらSTANDBY/ONボタンを押して、スタンバイ状態にする**

6 **プラズマディスプレイのMAIN POWERスイッチを押して、主電源を切る**
主電源を切ってもSTANDBY/ONインジケーターが点灯していることがありますが、これは回路に充電された電荷が若干残っているためで、しばらくすれば消えます。

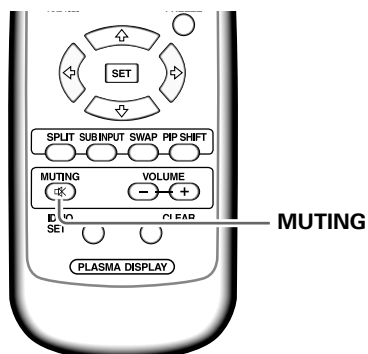
ご注意
同じ映像を長い間表示しないでください。
画面にゴーストや残像などが現れる「焼き付き」という現象の原因となります。

音量を調整する

プラズマディスプレイの操作パネル

リモコン

VOLUMEボタンを押す

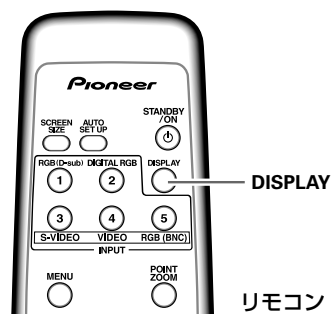
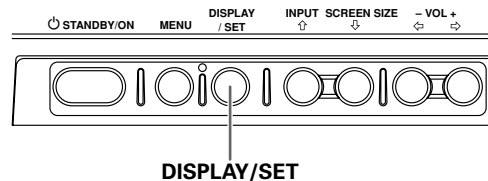
[－]（音量小）ボタンまたは[＋]（音量大）ボタンを押して、スピーカーから出る音量を調整します。

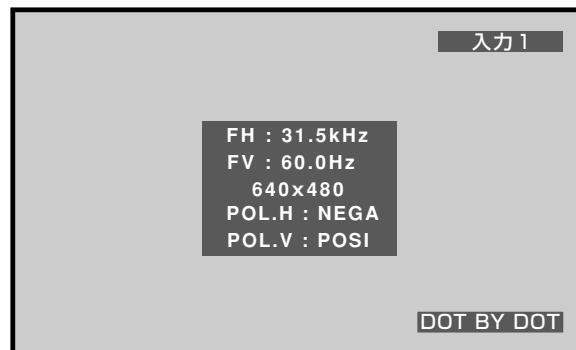
一時的に音を消す

リモコンのMUTINGボタンを押す

もう一度MUTINGボタンを押すと音が出ます。
MUTINGボタンを押して約8分経つと、消音状態は自動的に解除されます。このとき、音量を最小の状態にして解除します。
VOLUME＋ボタンまたはVOLUME－ボタンを押して、好みの音量にしてください。

現在の状態を確認する

プラズマディスプレイの操作パネル

リモコン

DISPLAYボタンを押す

現在選択されている入力、画面サイズ、水平／垂直周波数が約3秒間表示されます。

ご注意
周波数表示は実際と異なることがあります。

画面サイズを切り換える

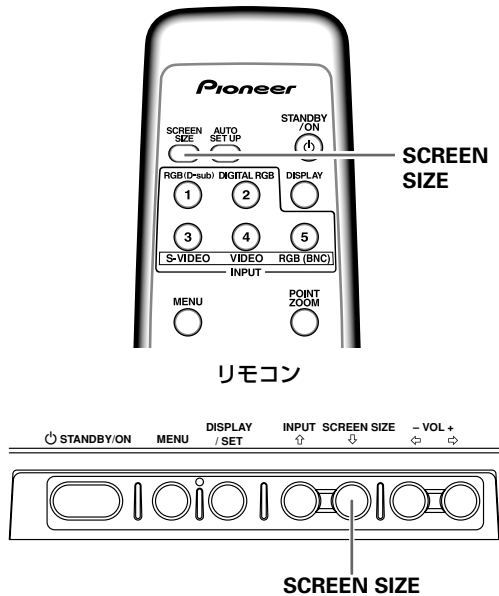
プラズマディスプレイは、さまざまな縦横比の画面モードに対応しています。見ている映像に合った正しい画面モードでご覧になることをお勧めします。これらの機能は、映像をワイドな画面いっぱいに映すものですが、ご使用にあたっては、制作者の意図を十分に尊重してお楽しみいただくことをお勧めいたします。

画面サイズの切り換え

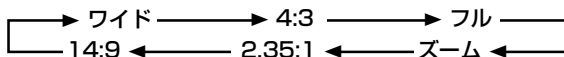
ビデオ信号入力時

画面に映る映像の大きさや写し出す映像の範囲を、6種類の画面サイズに切り換えることができます。

SCREEN SIZEボタンを押して、画面サイズを選ぶ

リモコン

プラズマディスプレイ本体の操作パネル

SCREEN SIZEボタンを押すたびに、画面モードが次のように切り換わります。

● INPUT1、INPUT2、INPUT5では入力信号により選択できる画面モードが異なります。詳しくは付録1のビデオ信号対応一覧表をご覧ください。(51ページ)

ご注意

- ワイド、ズームまたはフルの画面モードを使って、4：3映像を画面いっぱいに引き伸ばすと、映像の一部に欠けやゆがみが生じることがあります。
- プラズマディスプレイを営利目的または公衆に視聴させることを目的として、ワイド、ズーム、2.35:1、14:9またはフルの画面モードを利用して、画面の圧縮、引き伸ばしなどを行いますと、著作権法によって保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意ください。

ビデオ信号入力時

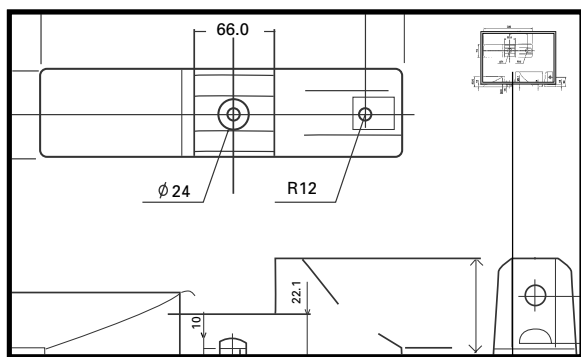
画像の見え方	
ワイド	ニュースやスポーツ番組などを見るときに適しています。映画やスポーツ番組などでは、広がり感のある迫力の映像が楽しめます。
4:3	ニュースやドラマ番組などを見るときに適しています。映像ソフト本来の画面枠で見ることができます。
フル	ワイド画面用の映像(スクイーズ)に適しています。
ズーム	劇場サイズの映像のうち、主に「シネスコ(シネマスコープ)サイズ」の映像を見るときなどに適しています。 より広がり感のある迫力の映像が楽しめます。
2.35:1	2.35:1のスクイーズ映像を、黒帯なしで画面いっぱいに表示します。ただし左右の映像は欠けて表示されます。
14:9	4:3 の画面をひずませずに拡大します。

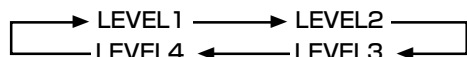
パソコン信号入力時の画面サイズについてはプラズマディスプレイ本体の取扱説明書をご覧ください。

画面を部分的に拡大する (POINT ZOOM)

プラズマディスプレイは画面を拡大表示することができます。拡大表示時には▲/▼/◄/►ボタンで表示場所を上下左右に移動できます。

- 拡大表示する範囲は、画面右上のズームエリア画面で確認できます(中心に+ マークが表示されます)。このズームエリア画面は、POINT ZOOMボタン、▲/▼/◄/►ボタンまたはDISPLAYボタンが押されてから約3秒間表示されます。

1　リモコンのPOINT ZOOMボタンを押す

ズームエリア画面

POINT ZOOMボタンを押すたびに、次のように拡大率が切り換わります。

- LEVEL1 .... 1倍
- LEVEL2 .... 1.5倍
- LEVEL3 .... 2倍
- LEVEL4 .... 3倍

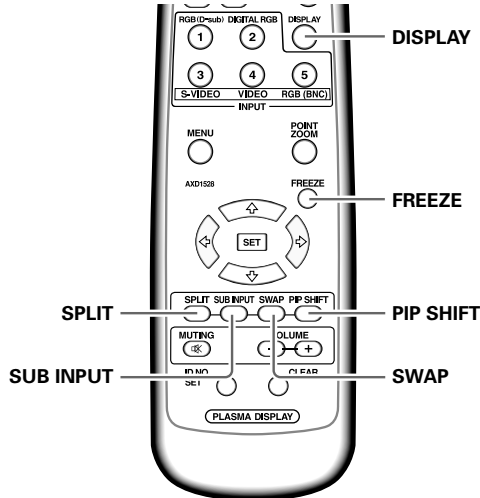
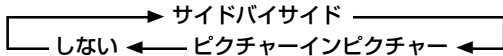
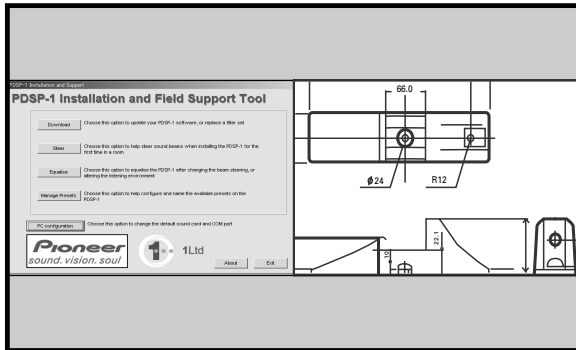
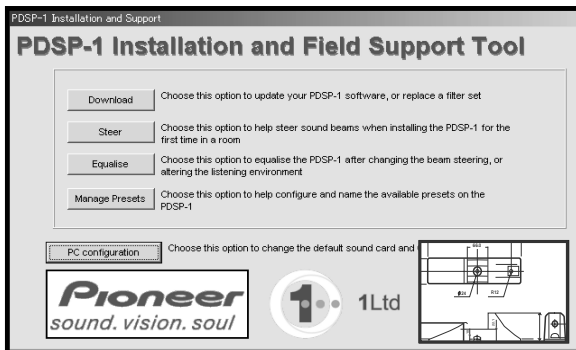
2　▲/▼/◄/►ボタンを押して、表示場所を移動する

ご注意

- 部分拡大(POINT ZOOM)中は画面サイズの切り換えはできません。
- 再度POINT ZOOM、▲/▼/◄/►ボタンを押すと拡大率の変更、表示位置の変更ができます。
- 信号が変わったとき、メニューを開いたとき、入力を切り換えたとき、またはマルチ画面にしたときには部分拡大(POINT ZOOM)は終了します。
- プラズマディスプレイを営利目的または公衆に視聴させることを目的として、ワイド、ズームまたはフルの画面モードを利用して、画面の圧縮、引き伸ばしなどを行いますと、著作権法によって保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意ください。

日本語

マルチ画面にする

プラズマディスプレイは２つの入力を同時に表示させることができます。マルチ画面のモードにはサイドバイサイド、ピクチャーインピクチャーの２種類があります。

1　リモコンのSPLITボタンを押す
SPLITボタンを押すたびに、次のように切り換わります。

① サイドバイサイド
メイン画面を左側、サブ画面を右側に表示します。

② ピクチャーインピクチャー
サブ画面をメイン画面の4隅いずれかに表示します。

2　リモコンのSUB INPUTボタンを押してサブ画面の入力を選ぶ

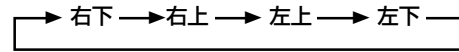
メイン画面とサブ画面を入れ換えるには

リモコンのSWAPボタンを押す

- サイドバイサイドを選択しているとき
左右の画面が入れ換わり、それまでのメイン画面がサブ画面に、サブ画面がメイン画面に移動します。
- ピクチャーインピクチャーを選択しているとき
それまでのメイン画面がサブ画面になるため小さくなり、サブ画面がメイン画面になるため大きくなります。

ピクチャーインピクチャーのときにサブ画面表示位置を移動するには

リモコンのPIP SHIFTボタンを押す

PIP SHIFTボタンを押すたびに、サブ画面の表示位置が次のように切り換わります。

現在選択されている入力を表示するには

DISPLAYボタンを押す

マルチ画面表示中にDISPLAYボタンを押すと、メイン画面とサブ画面それぞれで現在選択されている入力が表示されます。

ご注意

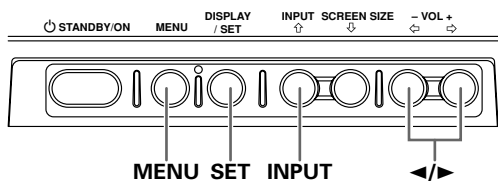
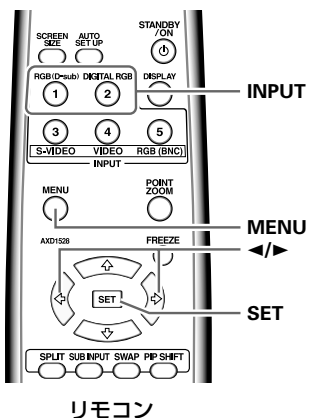
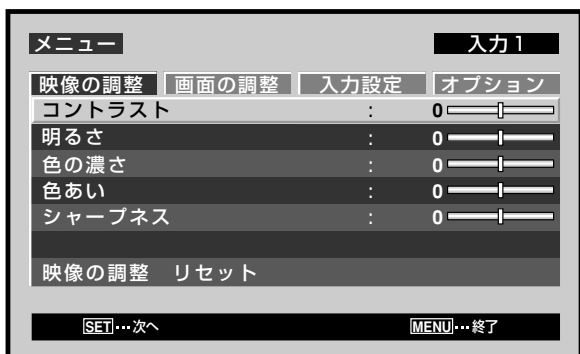
- プラズマディスプレイを営利目的または公衆に視聴させることを目的とし、画面のサイズ切り換え機能などを利用して画面の圧縮、引き伸ばしなどを行うと、著作権法によって保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意ください。
- 長時間マルチ画面表示したり、短時間でも毎日繰り返しマルチ画面表示させると焼き付きによる残像が現れることがあります。
- サイドバイサイド画面表示にしたとき、映像によっては画面が粗く見えることがあります。
- メニュー画面にしたとき、部分拡大(POINT ZOOM)を行ったときにはマルチ画面表示は終了します。
- マルチ画面表示中は画面サイズの切り換えはできません。
- マルチ画面表示中は、メイン画面で選択している入力の音声が出力されます。

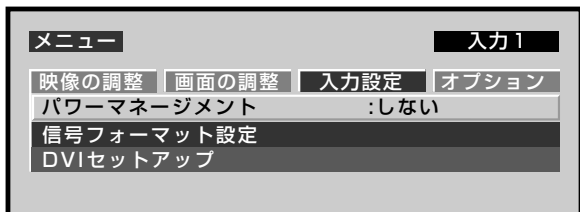
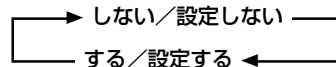
電源を自動的に切る

プラズマディスプレイはパワーマネージメント機能と無信号電源オフによって同期信号を検知しない場合、自動的に待機状態または電源スタンバイにすることができます（これらの機能が働く前に、画面にお知らせの表示が出ます）。

ご注意
長時間使用しない場合は必ず主電源を切ってください。

リモコン

プラズマディスプレイ本体の操作パネル

1　MENUボタンを押して、メニュー画面にする

2　◄/►ボタンを押して、「入力設定」を選ぶ
「INPUT1、INPUT2またはINPUT5（PDA-5003のみ）にパソコン信号が入力されているとき」

「左記以外のとき」

3　SETボタンを押して、「パワーマネージメント」または「無信号電源オフ」の設定を選ぶ
工場出荷時は、「しない／設定しない」に設定されています。
SETボタンを押すたびに、次のように切り換わります。

- しない／設定しない……
  同期信号の有無にかかわらずプラズマディスプレイは動作状態が続きます。
- パワーマネージメント：する……
  同期信号を検知しないと、約８秒間画面にお知らせを表示したあと、プラズマディスプレイの電源が待機状態になり、STANDBY/ONインジケーターが点滅（緑）します。そのあと同期信号の入力が再開されると、プラズマディスプレイは動作状態に戻ります。（*1）
  ＊1　G ON SYNCまたはコンポシットSYNC入力時を除きます。
- 無信号電源オフ：設定する……
  8 分以上同期信号を検知しないとお知らせの表示をしたあと、プラズマディスプレイの電源がスタンバイ状態になります。

4　設定が終わったらMENUボタンを押して、通常画面に戻す

ご注意
「パワーマネージメント」、「無信号電源オフ」の設定は、各入力（INPUT1 ～ INPUT5）ごとに行ってください。

動作状態に戻すには

- 待機状態（パワーマネージメント）から動作状態に戻すには、パソコンを動作させるか、INPUTボタンを押します。
- 電源スタンバイ状態（無信号電源オフ）から動作状態に戻すには、プラズマディスプレイ本体またはリモコンのSTANDBY/ONボタンを押します。

映像と画面の調整

映像を調整する

リモコン

プラズマディスプレイ本体の操作パネル

1　MENUボタンを押して、メニュー画面にする

2　▲/▼ボタンを押して、調整する項目を選び、SETボタンを押す

3　◄/►ボタンを押して、好みの画質に調整する

4　SETボタンを押す
調整値がメモリーされ、手順2の画面に戻ります。

5　調整が終わったらMENUボタンを押して、通常画面に戻す

ご注意
この調整は、各入力(INPUT1～INPUT5)、および各信号ごとに行ってください。

「映像の調整」の調整項目

「映像の調整」から以下の項目を選択し調整します。

コントラスト ･････ 周囲の明るさに合わせて、見やすくなるようにする
明るさ ･･･････････ 画面の暗い部分が見やすくなるようにする
色の濃さ ･････････ 好みの濃さにする(やや濃いめに設定すると自然に見えます)
色あい ･･･････････ 肌色がきれいに見えるようにする
シャープネス ･････ 通常はセンターでご使用ください。やわらかい感じを出したいときはセンターより左側に、シャープな感じにしたいときは右側に設定してください。

ご注意
パソコン信号入力時の映像の調整については、プラズマディスプレイの取扱説明書を参照してください。

「映像の調整」の調整内容を元の状態に戻すには

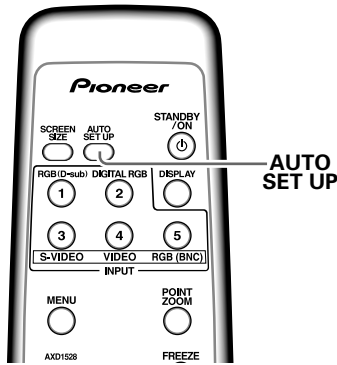
調整をしすぎたり映像が不自然になってしまったときは、調整を続けるよりも「映像の調整」の調整内容をいったん元の状態に戻した方がよい場合があります。

1　『映像を調整する』の手順2 で▲ / ▼ ボタンを押して、「映像の調整　リセット」を選び、SETボタンを押す

2　◄/►ボタンを押して、「はい」を選び、SETボタンを押す
「映像の調整」の調整値はすべて工場出荷時の値に戻ります。

画面の位置やクロック周波数、クロック位相を調整する<自動調整>

リモコンのAUTO SET UPボタンを押すかメニューの「オートセットアップモード」を設定することによって、自動的に映像に合った画面の位置やクロックに調整することができます。

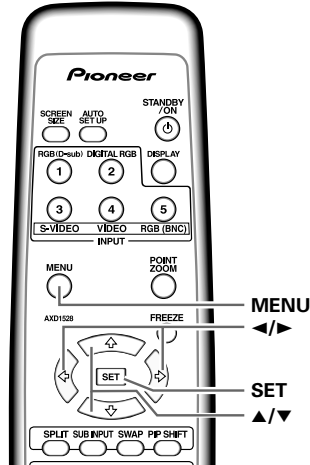
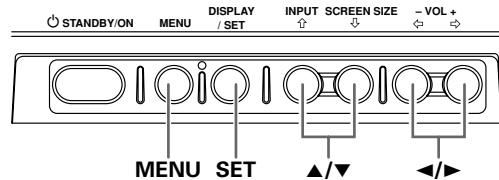
ボタンを押したときに入力されている映像に合った調整を自動的に行う

リモコンのAUTO SET UPボタンを押す

ご注意
- この設定はINPUT1またはINPUT5にパソコン信号入力時のみ有効です。
- この調整は、各入力(INPUT1またはINPUT5)および各信号ごとに行ってください。
- 輝度が低い信号など、入力されている信号によってはうまく調整できない場合があります。そのような場合は、オートセットアップモードを「動作しない」に設定し、次項の『**画面の位置やクロック周波数、クロック位相を調整する<手動調整>**』で説明されている方法で調整してください。

電源を入れたとき、入力を切り換えたとき、入力している信号の種類が切り換わったときに自動的に映像に合った調整を行う

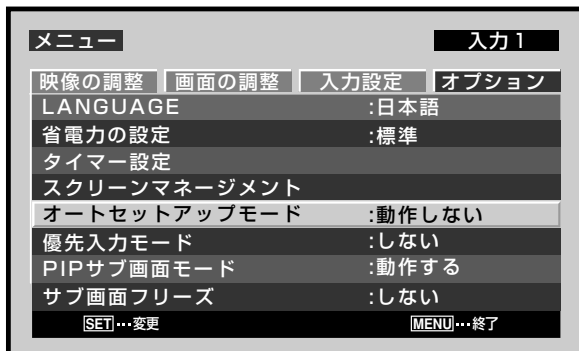
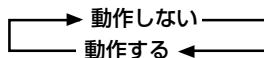
リモコン

STANDBY/ON　MENU　DISPLAY / SET　INPUT　SCREEN SIZE　– VOL +

MENU　SET　▲/▼　◄/►

プラズマディスプレイ本体の操作パネル

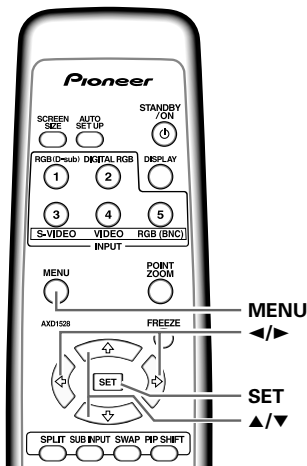
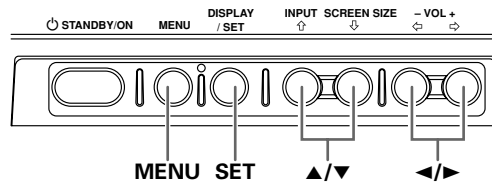
1　MENUボタンを押して、メニュー画面にする

2　◄/►ボタンを押して、「オプション」を選ぶ

3 ▲/▼ボタンを押して、「オートセットアップモード」を選ぶ

4 SETボタンを押して設定を選びます
工場出荷時は「動作しない」に設定されています。
SETボタンを押すたびに、次のように切り換わります。

5 設定が終わったらMENUボタンを押して、通常画面に戻す

ご注意
- この設定はINPUT1またはINPUT5にパソコン信号入力時のみ有効です。
- 輝度が低い信号など、入力されている信号によってはうまく調整できない場合があります。そのような場合は、オートセットアップモードを「動作しない」に設定し、次項の『**画面の位置やクロック周波数、クロック位相を調整する＜手動調整＞**』で説明されている方法で調整してください。

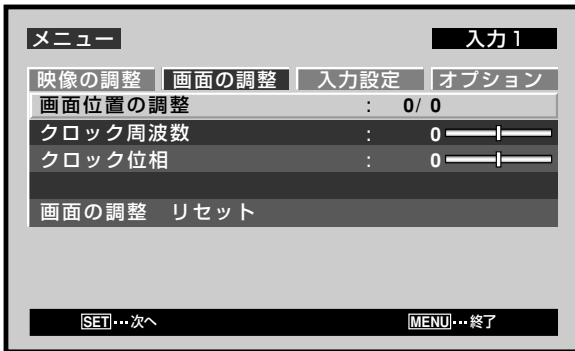
画面の位置やクロック周波数、クロック位相を調整する〈手動調整〉

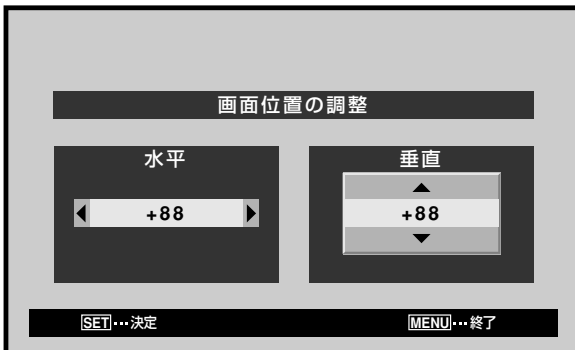
INPUT1、INPUT2またはINPUT5にパソコン信号を入力しているときに調整します。

リモコン

プラズマディスプレイ本体の操作パネル

1 MENUボタンを押して、メニュー画面にする

2 ◄/►ボタンを押して、「画面の調整」を選ぶ

INPUT2、INPUT3、INPUT4を選択しているときは次のような画面が表示されます。

3 ▲/▼ボタンを押して、調整する項目を選び、SETボタンを押す

4 ◄/► ボタンおよび▲/▼ボタンを押して、好みの値に調整する

● 「画面位置の調整」のときは、◄/►ボタンで「水平」を調整し、▲/▼ボタンで「垂直」を調整します。

● 「クロック周波数」「クロック位相」のときは、◄/►ボタンを押して、好みの値に調整します。

ご注意

● この調整は、各入力(INPUT1またはINPUT5)および各信号ごとに行ってください。
● INPUT2を選んでいるときは「画面位置の調整」のみ調整できます。

5 SETボタンを押す
調整値がメモリーされ、手順3の画面に戻ります。

6 調整が終わったらMENUボタンを押して、通常画面に戻す

「画面の調整」の調整項目

「画面の調整」から以下の項目を選択し調整します。

画面位置の調整
　水平 ············ 映像の位置を左右に移動します
　垂直 ············ 映像の位置を上下に移動します
クロック周波数 ··· 文字のつぶれやノイズがあるとき調整します。この調整を行うと、入力中の映像信号に対応する本機内のクロック周波数が調整されます。
クロック位相 ····· 文字のちらつきや色ずれがあるとき調整します。この調整を行うと、「クロック周波数」で調整したクロックの位相が調整されます。

ご注意

● 「クロック周波数」および「クロック位相」の設定は、INPUT1およびINPUT5のみ対応しています。
● 「クロック周波数」の調整を行うと、「画面位置の調整」の「水平」の再調整が必要になることがあります。
● 「画面の調整」の調整項目を過度に行うと、正常な画面にならなくなることがあります。
● 「オートセットアップモード」を「動作する」に設定していると「画面位置の調整」、「クロック周波数」のモードに入るときにメッセージが表示されますが調整は可能です。
ただし、入力の切り換えなどを行うと調整値はオートセットアップモードによる自動調整の調整値をメモリーします。手動調整による調整値をメモリーするには調整前に「オートセットアップモード」を「動作しない」(33～34ページ)に設定しておいてください。

「画面の調整」の調整内容を元の状態に戻すには

調整をしすぎたり映像が不自然になってしまったときは、調整を続けるよりも「画面の調整」の調整内容をいったん元の状態に戻した方がよい場合があります。

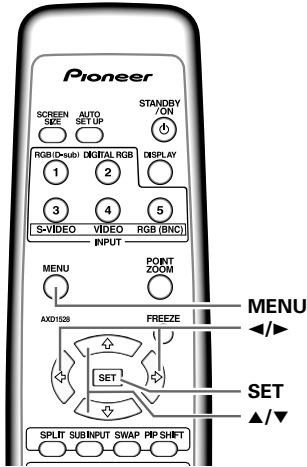
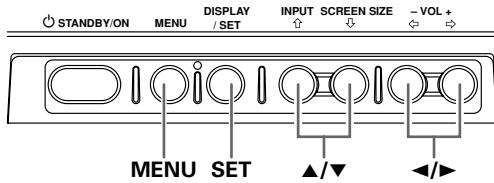
1 『画面の位置やクロック周波数、クロック位相を調整する<手動調整>』の手順3で▲/▼ボタンを押して、「画面の調整　リセット」を選び、SETボタンを押す

2 ◄/►ボタンを押して、「はい」を選び、SETボタンを押す
「画面の調整」の調整値はすべて工場出荷時の値に戻ります。

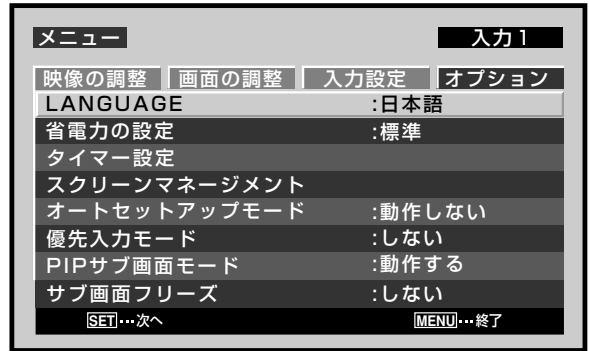
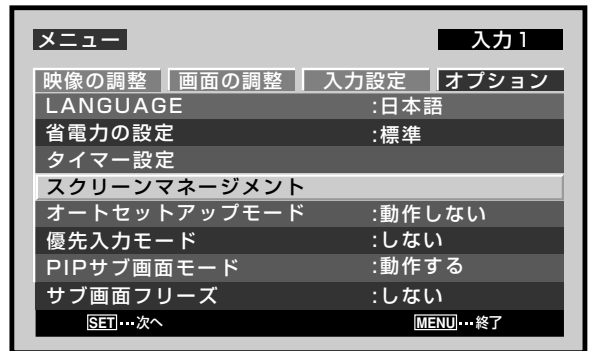
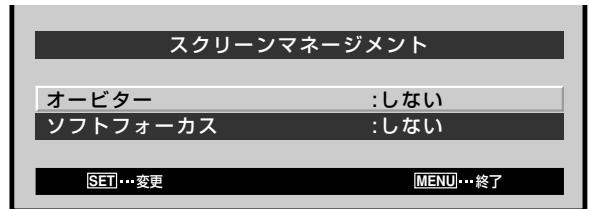
その他の機能

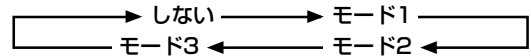
オービターを設定する

画面の表示位置を時間が経過するたびに少しずつ移動させる機能です。

- この機能は部分拡大(POINT ZOOM)表示中は動作しません。

リモコン

プラズマディスプレイ本体の操作パネル

1　MENUボタンを押して、メニュー画面にする

2　◄/►ボタンを押して、「オプション」を選ぶ

3　▲/▼ボタンを押して、「スクリーンマネージメント」を選び、SETボタンを押す

4　▲/▼ボタンを押して、「オービター」を選ぶ

5　◄/►ボタンを押して、設定を選ぶ

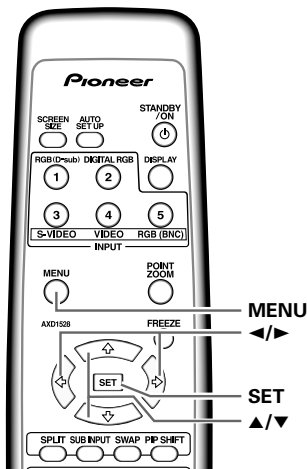
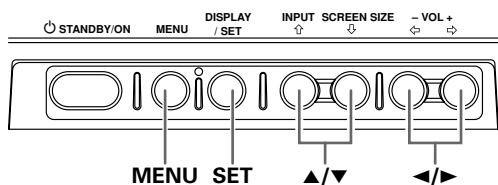
工場出荷時は「しない」に設定されています。
◄/►ボタンを押すたびに、次のように切り換わります。

- しない ･･･「オービター」を使用しません。
- モード1 ･･ 映像を縮小して、画面の表示位置を移動させます。
- モード2 ･･ 映像を拡大して、画面の表示位置を移動させます。
- モード3 ･･ DOT BY DOTに適応して、画面の表示位置を移動させます。

6　設定が終わったらMENUボタンを押して、通常画面に戻す

ご注意

「オービター」はすべての入力に共通した設定項目です。

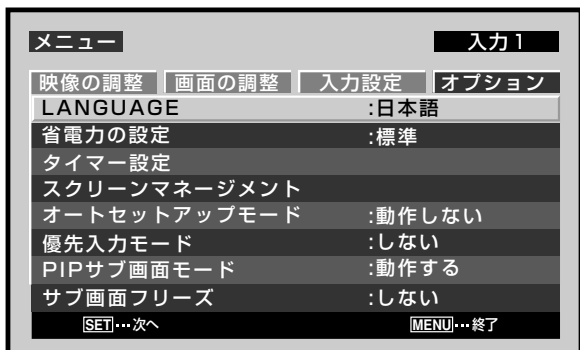
ソフトフォーカスを設定する

映像のエッジを抑え、やわらかい映像にします。

リモコン

STANDBY/ON　MENU　DISPLAY / SET　INPUT　SCREEN SIZE　– VOL +

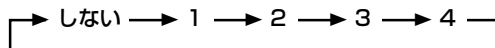
MENU　SET　▲/▼　◄/►

プラズマディスプレイ本体の操作パネル

1　MENUボタンを押して、メニュー画面にする

2　◄/►ボタンを押して、「オプション」を選ぶ

3　▲/▼ボタンを押して、「スクリーンマネージメント」を選び、SETボタンを押す

4　▲/▼ボタンを押して、「ソフトフォーカス」を選ぶ

5　◄/►ボタンを押して、設定を選ぶ
工場出荷時は「しない」に設定されています。
◄/►ボタンを押すたびに、次のように切り換わります。

- しない ･･･「ソフトフォーカス」の設定を解除します。
- 1～4 ････「ソフトフォーカス」を設定します。
  1、2、3、4の順にやわらかい映像になります。

6　設定が終わったらMENUボタンを押して、通常画面に戻す

ご注意

「ソフトフォーカス」はすべての入力に共通した設定項目です。

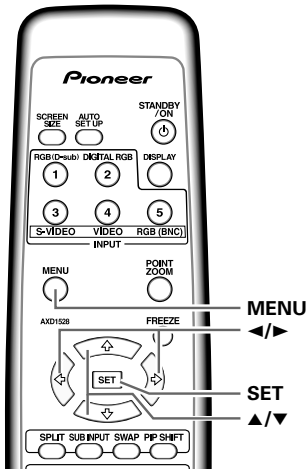
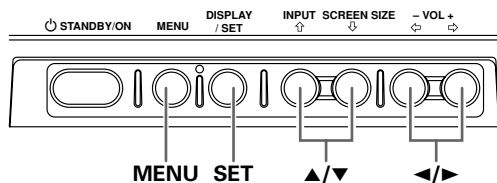
日本語

省電力の設定

本機は画面の明るさを制御することによって、消費電力を低減させたり、パネルの劣化を軽減することができます。

リモコン

STANDBY/ON　MENU　DISPLAY / SET　INPUT　SCREEN SIZE　– VOL +

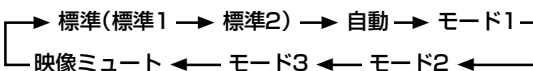
MENU　SET　▲/▼　◄/►

プラズマディスプレイ本体の操作パネル

1　MENUボタンを押して、メニュー画面にする

2　◄/►ボタンを押して、「オプション」を選ぶ

3　▲/▼ボタンを押して、「省電力の設定」を選ぶ

4　SETボタンを押して、省電力の設定を選ぶ

工場出荷時は「標準」(PDP-607CMX/PDP-427CMX)／「標準１」(PDP-507CMX-JP)に設定されています。SETボタンを押すたびに、次のように切り換わります。

- 標準 .... 入力信号に合わせて明るさを制御して、明るく見やすい画面にします。(PDP-607CMX/PDP-427CMX)
- 標準1·標準2 ...... 通常の明るい映像です。絵柄により見え方が異なります。(PDP-507CMX-JP)
- 自動 .... 部屋の明るさに応じて明るさを制御します。設置環境に最適な明るく見やすい画面にします。(PDP-427CMX)
- モード1 .... 入力信号に合わせて明るさを制御しますが、「標準」(標準１、標準２）に設定したときより少ない消費電力で動作します。
- モード2 .... 入力信号に合わせて明るさを制御しますが、「モード１」に設定したときより少ない消費電力で動作します。
- モード3 .... 入力信号によらず明るさを固定します。焼き付きなどによるパネルの劣化を軽減する効果があります。
- 映像ミュート* .... 表示している画面を一時的に消します。

*** 表示を元に戻す場合**

- MENU, DISPLAY, SUB INPUT, SPLIT, SWAP, PIP SHIFT ボタンのいずれかを押す。
- 入力を切り換える。
- 本機をスタンバイ状態にする。

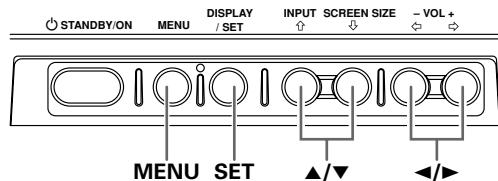
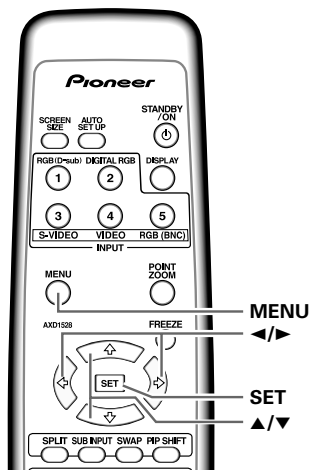
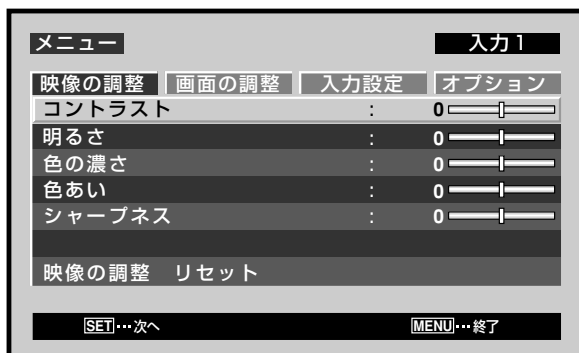
5　設定が終わったらMENUボタンを押して、通常画面に戻す

ご注意

「省電力の設定」はすべての入力に共通した設定項目です。

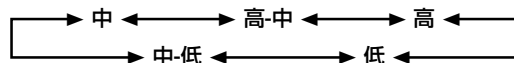
色温度を変更する

リモコン

プラズマディスプレイ本体の操作パネル

1 MENUボタンを押して、メニュー画面にする

2 ◄/►ボタンを押して、「入力設定」を選ぶ

3 ▲/▼ボタンを押して、「色温度」を選び、SETボタンを押す

4 ◄/►ボタンを押して、好みの色温度を選ぶ

工場出荷時は、「中」に設定されています。
◄ / ► ボタンを押すたびに、次のように切り換わります。

5 SETボタンを押す
色温度が設定され、手順3の画面に戻ります。

6 設定が終わったらMENUボタンを押して、通常画面に戻す

ご注意
色温度の設定は、ビデオ機器の信号入力時のみ可能です。また設定は、各入力(INPUT1～INPUT5)および各信号ごとに行ってください。

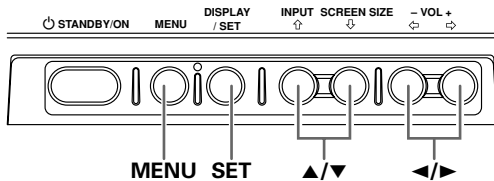
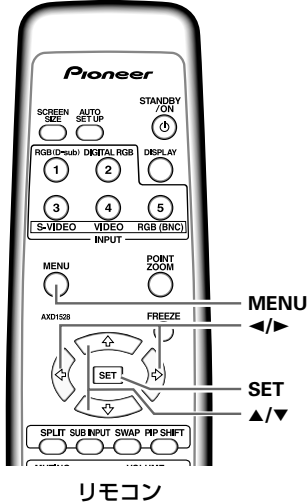
映像のノイズ感を軽減する(DNR)

映像のノイズ感が気になるときに設定します。

リモコン

STANDBY/ON　MENU　DISPLAY / SET　INPUT　SCREEN SIZE　– VOL +

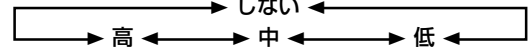
MENU　SET　▲/▼　◄/►

プラズマディスプレイ本体の操作パネル

1　MENUボタンを押して、メニュー画面にする

2　◄/►ボタンを押して、「入力設定」を選ぶ

3　▲/▼ボタンを押して、「DNR」を選び、SETボタンを押す

4　◄/►ボタンを押して、「DNR」の設定を選ぶ

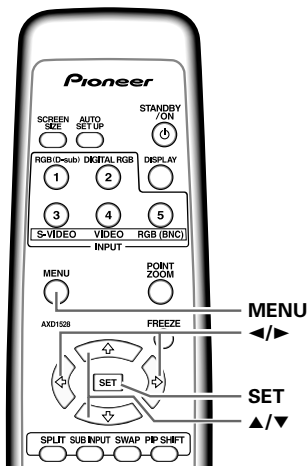
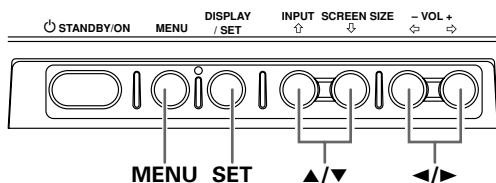
工場出荷時は、「中」に設定されています。
◄/►ボタンを押すたびに、次のように切り換わります。

- 「低」→「中」→「高」の順に効果が大きくなります。

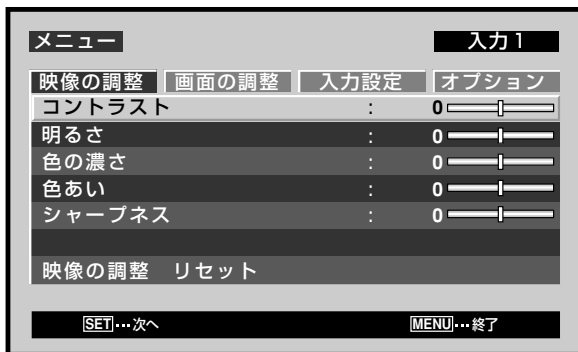
5　SETボタンを押す
「DNR」が設定され、手順3の画面に戻ります。

6　設定が終わったらMENUボタンを押して、通常画面に戻す

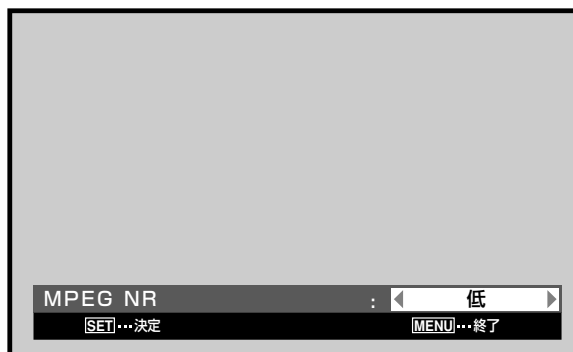
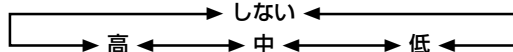
ご注意
「DNR」の設定は、ビデオ機器の信号入力時のみ可能です。また設定は、各入力（INPUT1～INPUT5）および各信号ごとに行ってください。

MPEG映像をすっきりさせる（MPEG NR）

デジタル放送やDVDなどの映像のざわつき（モスキートノイズ）が気になるときに設定します。

リモコン

プラズマディスプレイ本体の操作パネル

1　MENUボタンを押して、メニュー画面にする

2　◄/►ボタンを押して、「入力設定」を選ぶ

3　▲/▼ボタンを押して、「MPEG NR」を選び、SETボタンを押す

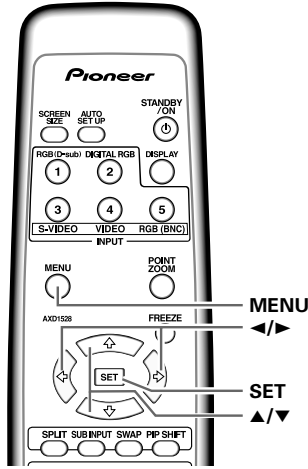
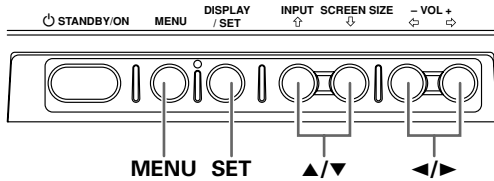
4　◄/►ボタンを押して、「MPEG NR」の設定を選ぶ

工場出荷時は、「低」に設定されています。
◄/►ボタンを押すたびに、次のように切り換わります。

- 「低」→「中」→「高」の順に効果が大きくなります。

5　SETボタンを押す
「MPEG NR」が設定され、手順3の画面に戻ります。

6　設定が終わったらMENUボタンを押して、通常画面に戻す

ご注意
「MPEG NR」の設定は、ビデオ機器の信号入力時のみ可能です。また設定は、各入力（INPUT1～INPUT5）および各信号ごとに行ってください。

色の境目を際立たせる(CTI)

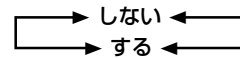
お好みに応じて色の輪郭を鮮明にします。

リモコン

プラズマディスプレイ本体の操作パネル

1　MENUボタンを押して、メニュー画面にする

2　◄/►ボタンを押して、「入力設定」を選ぶ

3　▲/▼ボタンを押して、「CTI」を選び、SETボタンを押す

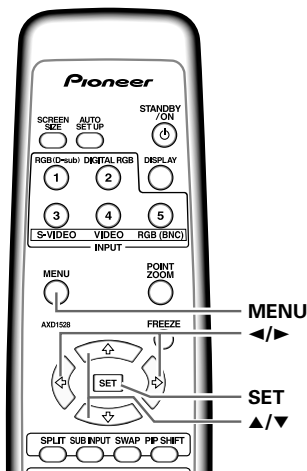
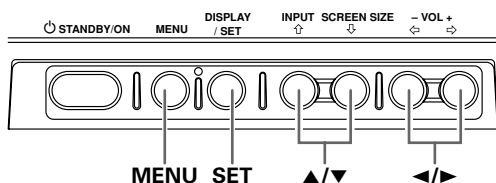
4　◄/►ボタンを押して、「CTI」の設定を選ぶ

工場出荷時は、「する」に設定されています。
◄/►ボタンを押すたびに、次のように切り換わります。

5　SETボタンを押す
「CTI」が設定され、手順3の画面に戻ります。

6　設定が終わったらMENUボタンを押して、通常画面に戻す

ご注意
「CTI」の設定は、ビデオ機器の信号入力時のみ可能です。また設定は、各入力（INPUT1～INPUT5）および各信号ごとに行ってください。

ピュアシネマを設定する

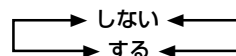
フィルム収録のDVD映像などを、さらに美しく再生することができます。

リモコン

プラズマディスプレイ本体の操作パネル

1　MENUボタンを押して、メニュー画面にする

2　◄/►ボタンを押して、「入力設定」を選ぶ

3　▲/▼ボタンを押して、「ピュアシネマ」を選び、SETボタンを押す

4　◄/►ボタンを押して、「ピュアシネマ」の設定を選ぶ

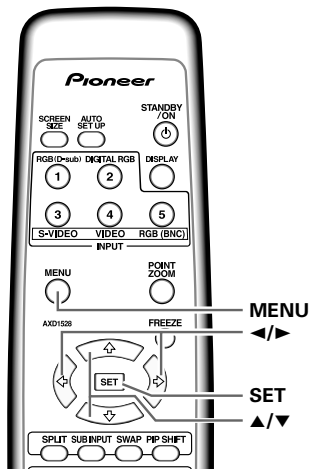
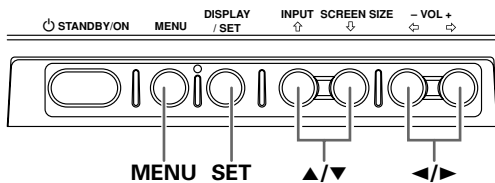
工場出荷時は、「する」に設定されています。
◄/►ボタンを押すたびに、画面モードが次のように切り換わります。

- しない ・・・・・・・ 「ピュアシネマ」を使用しません。
- する ・・・・・・・・・ 映画など毎秒24コマで収録されているDVDソフトやハイビジョン映像を表示するとき、記録されている映像情報を自動的に検出し、フィルム本来の滑らかで美しい映像を楽しむことができます。

5　SETボタンを押す
「ピュアシネマ」が設定され、手順3の画面に戻ります。

6　設定が終わったらMENUボタンを押して、通常画面に戻す

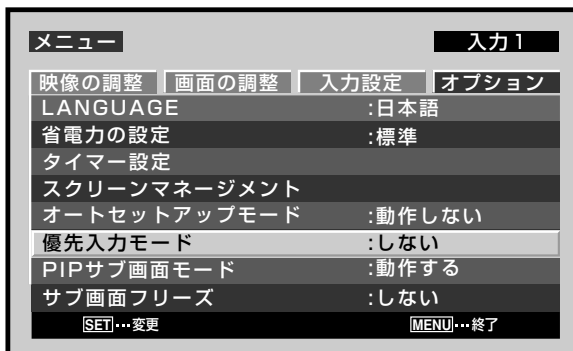
ご注意
- ビデオ信号入力時では、入力信号により選択できるモードが異なります。詳しくは付録3のピュアシネマ対応一覧表をご覧ください。(55ページ)
- 設定は各入力(INPUT1〜INPUT5)および各信号ごとに行ってください。

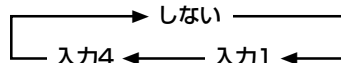
自動で入力を切り換える (優先入力モード)

プラズマディスプレイは「優先入力モード機能」によって、設定した入力で信号が検出されたとき、自動的にその入力に切り換えることができます。

リモコン

プラズマディスプレイ本体の操作パネル

1 MENUボタンを押して、メニュー画面にする

2 ◄/►ボタンを押して、「オプション」を選ぶ

3 ▲/▼ボタンを押して、「優先入力モード」を選ぶ

4 SETボタンを押して、入力を選ぶ

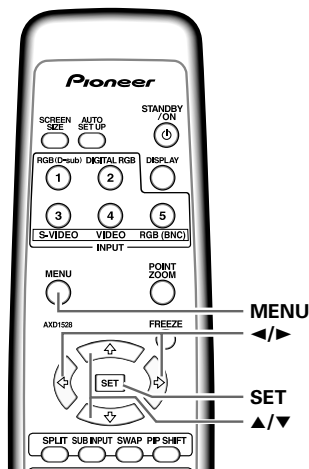
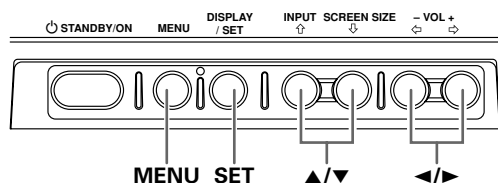
工場出荷時は「しない」に設定されています。
SETボタンを押すたびに、次のように切り換わります。

- しない ‥‥‥ 優先入力モード機能は働きません。
- 入力1または入力4‥‥
  - 選んだ入力への信号を検出したとき、自動的にその入力に切り換えます。
  - 「優先入力モード」で入力が切り換わったあと、信号入力がなくなると、「優先入力モード」機能によって切り換わる前の入力へ戻ります。
  - 「優先入力モード」で入力が切り換わったあとにINPUTボタンを押して別の入力を選択すると、一時的に「優先入力モード」は解除されますが、電源の入／切をすると再度設定されます。

5 設定が終わったらMENUボタンを押して、通常画面に戻す

ご注意

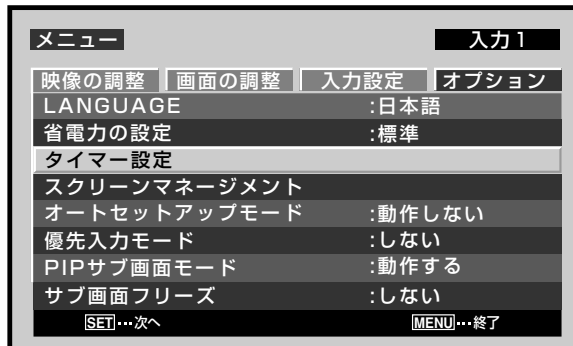
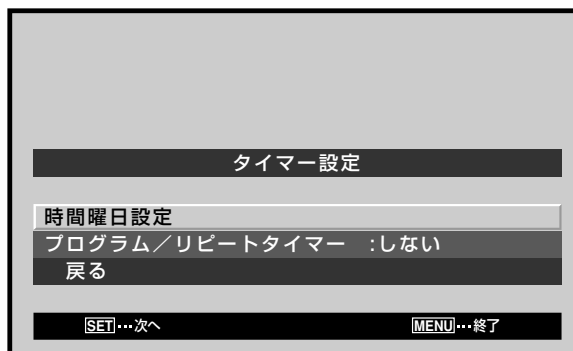
- 「優先入力モード」機能は「入力1」にセパレートSYNCまたはコンポジットSYNCアナログRGB信号入力時のみ働きます(G ON SYNCまたはコンポーネント映像信号入力時は働きません)。
- 「優先入力モード」はすべての入力に共通した設定項目です。

時間曜日を設定する

現在の曜日と時間、およびサマータイムを設定します。

リモコン

プラズマディスプレイ本体の操作パネル

1　MENUボタンを押して、メニュー画面にする

2　◄/►ボタンを押して、「オプション」を選ぶ

3　▲/▼ボタンを押して、「タイマー設定」を選び、SETボタンを押す

4　▲/▼ボタンを押して、「時間曜日設定」を選び、SETボタンを押す

5　▲/▼/◄/►ボタンを押して、各項目を設定する

- サマータイム ･･･ サマータイムを設定します。
  する：　現在時間＋1 時間で表示されます。
  しない：解除します。
- 曜日 ･･････････ 現在の曜日を設定します。
- 時、分 ････････ 現在の時間、分を設定します。

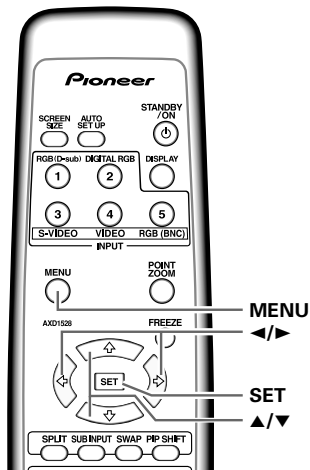
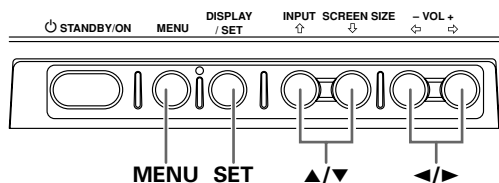
6　設定が終わったら▲/▼ボタンを押して、「戻る」を選び、SETボタンを押して、「タイマー設定」画面に戻す

ご注意

「タイマー設定」はすべての入力に共通した設定項目です。

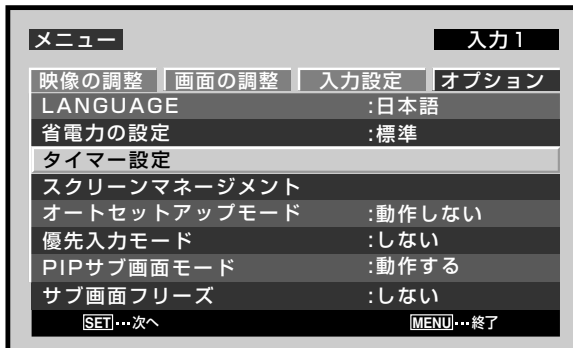
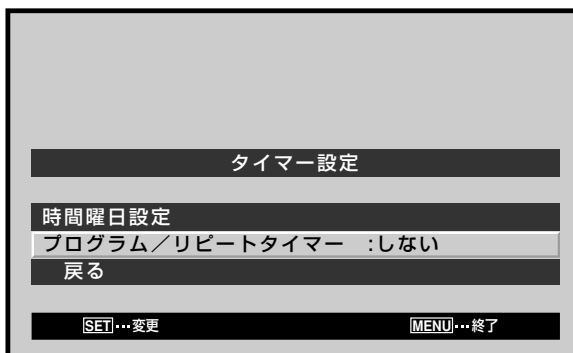
日本語

タイマーを動作させる

あらかじめ設定されたタイマーを動作させることができます。

リモコン

プラズマディスプレイ本体の操作パネル

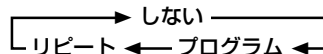
1　MENUボタンを押して、メニュー画面にする

2　◄/►ボタンを押して、「オプション」を選ぶ

3　▲/▼ボタンを押して、「タイマー設定」を選び、SETボタンを押す

4　▲/▼ボタンを押して、「プログラム／リピートタイマー」を選ぶ

5　◄/►ボタンを押して、設定を選ぶ

工場出荷時は「しない」に設定されています。

◄/►ボタンを押すたびに、次のように切り換わります。

→ しない → プログラム → リピート →

6　設定が終わったら▲/▼ボタンを押して、「戻る」を選び、SETボタンを押して、通常画面に戻す

プログラムの設定内容

- 毎日10：00に電源がオンします。
  入力、機能は最後に電源をオフしたときの設定です。
- 20：00になると全白の画面が表示され、21：00になると電源がオフします。

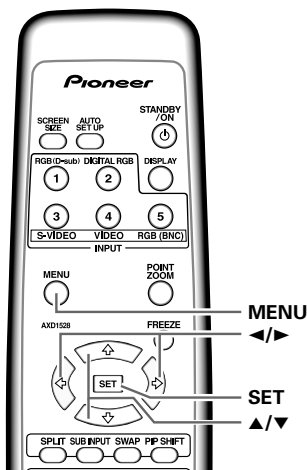
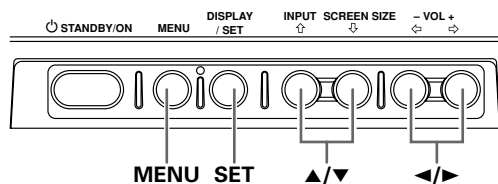
リピートの設定内容

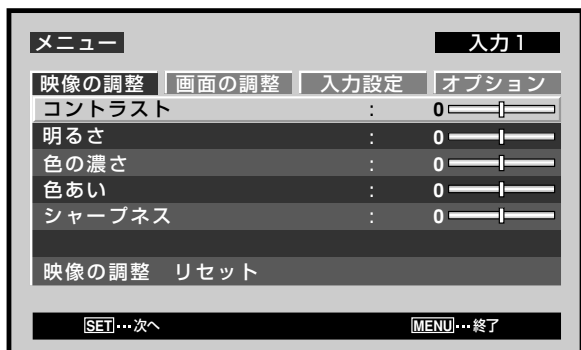
- 入力1と入力2の画面を交互に10分間隔で繰り返し表示します。

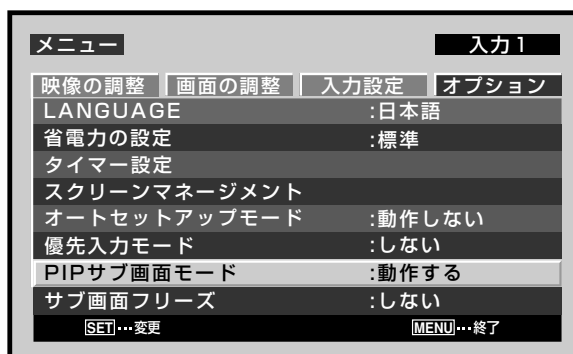
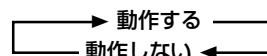
その他の機能

サブ画面モードを設定する

ピクチャーインピクチャー表示中に、サブ画面の入力信号がなくなった場合、サブ画面の黒枠表示を自動的に消すことができます。
サイドバイサイド表示では、サブ画面モード機能は働きません。

- 入力信号がない状態とは、映像信号および同期信号がない状態のことです。

リモコン

プラズマディスプレイ本体の操作パネル

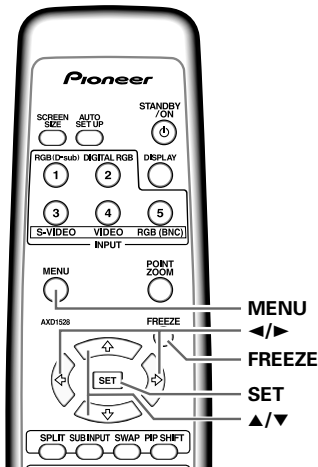
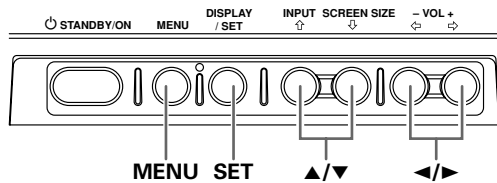
1　MENUボタンを押して、メニュー画面にする

2　◄/►ボタンを押して、「オプション」を選ぶ

3　▲/▼ボタンを押して、「PIPサブ画面モード」を選ぶ

4　SETボタンを押して、設定を選ぶ
工場出荷時は「動作する」に設定されています。
SETボタンを押すたびに、次のように切り換わります。

- 動作する ‥‥ マルチ画面でサブ画面の入力がない場合、黒枠表示を約3秒後に消します。
  その後、サブ画面の入力が復帰したときは、再びサブ画面を表示します。
- 動作しない ‥ 入力がないサブ画面は、黒枠表示のままとなります。

5　設定が終わったらMENUボタンを押して、通常画面に戻す

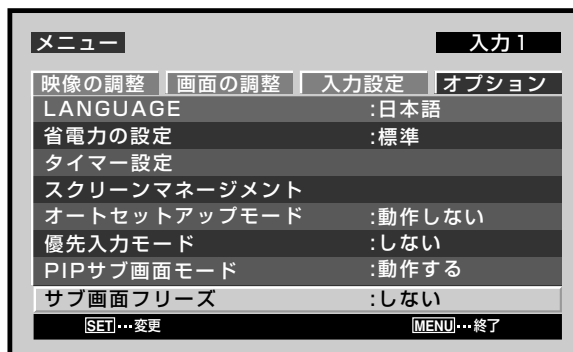
ご注意
「PIPサブ画面モード」はすべての入力に共通した設定項目です。

メモ画面を設定する

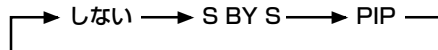
「しない」以外に設定すると、FREEZEボタンを押した時の映像を、静止画としてサブ画面に表示することができます。

リモコン

プラズマディスプレイ本体の操作パネル

1　MENUボタンを押して、メニュー画面にする

2　◄/►ボタンを押して、「オプション」を選ぶ

3　▲/▼ボタンを押して、「サブ画面フリーズ」を選ぶ

4　SETボタンを押して、設定を選ぶ

工場出荷時は「しない」に設定されています。

SETボタンを押すたびに、次のように切り換わります。

- しない ････ FREEZEボタンを押したときの静止画を、1画面で表示します。
- S BY S ･･･ FREEZEボタンを押したときの静止画を、サイドバイサイドのサブ画面に表示します。
- PIP ･･････ FREEZEボタンを押したときの静止画を、ピクチャーインピクチャー（左下〜左上）のサブ画面に表示します。

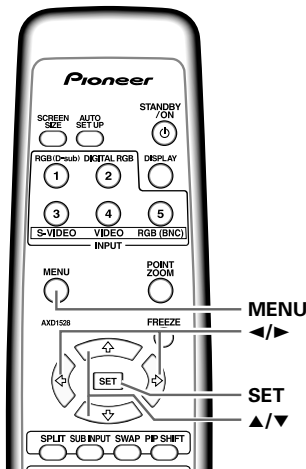
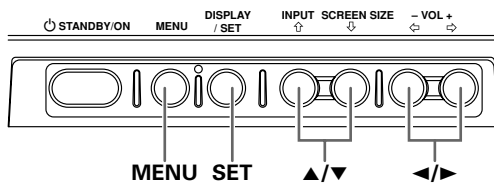
5　設定が終わったらMENUボタンを押して、通常画面に戻す

ご注意

- マルチ画面のときは働きません。
- この機能が動作中に再度FREEZEボタンを押した場合は、この機能は解除されます。
- この機能が動作中にマルチ画面にした場合は、この機能は解除されます。
- 「サブ画面フリーズ」はすべての入力に共通した設定項目です。

カラーシステムを設定する

INPUT3またはINPUT4は、世界各国のさまざまなテレビ方式に対応し、自動的に判別しています。
通常は「カラーシステム：自動（自動判別）」に設定しますが、ダビングを繰り返したVTR信号などの場合、きちんと再生できない（色が付かないなど）ことがあります。このような場合は、入力する信号に合わせて設定を行います。

ご注意
設定は各入力（INPUT3、INPUT4）ごとに行ってください。また、あらかじめ入力する信号が判っている場合は、設定を固定しておくとスムーズな信号処理が可能となり、入力切り換え時間の短縮や信号の誤判別を防ぐことができます。

リモコン

プラズマディスプレイ本体の操作パネル

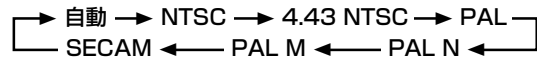
1　MENUボタンを押して、メニュー画面にする

2　◄/►ボタンを押して、「入力設定」を選ぶ

3　▲/▼ボタンを押して、「カラーシステム」を選ぶ

4　SETボタンを押して適切なテレビ方式を選ぶ
工場出荷時は、「自動」に設定されています。
SETボタンを押すたびに、次のように切り換わります。

5　設定が終わったらMENUボタンを押して、通常画面に戻す

その他

仕様

本体
外形寸法
PDA-5003 .... 301.5 mm（幅）× 27.6 mm（高さ）× 148.9 mm（奥行）
PDA-5004 .... 301.5 mm（幅）× 27.6 mm（高さ）× 148.3 mm（奥行）
質量 .... 0.4 kg

■ PDA-5003

入出力端子
映像系
INPUT3
入力　S端子（ミニDIN4ピンコネクタ）
- Y／Cセパレート映像信号
  Y･･･ 1 Vp-p/75 Ω/同期負
  C･･･ 0.286 Vp-p/75 Ω（NTSC）
  0.3 Vp-p/75 Ω（PAL）

INPUT4
入力　BNC端子
- コンポジット映像信号
  1 Vp-p/75 Ω/同期負

出力　BNC端子
  75 Ω/バッファ内蔵

INPUT5
入力　BNC端子（X5）
- RGB信号（G ON SYNC対応）
  RGB･･･0.7 Vp-p/75 Ω/同期なし
  HD/VS、VD･･･
  TTLレベル/正負極性/75 Ωまたは2.2 kΩ
  （インピーダンス切り換え付き）
  G ON SYNC･･･1 V p-p/75 Ω/同期負
- コンポーネント映像信号
  Y･･･ 1 Vp-p/75 Ω/同期負
  P_B/C_B、P_R/C_R･･･
  0.7 Vp-p（カラー100 %）/75 Ω

音声系
入力　AUDIO INPUT（INPUT3/4用）
  ピンジャック（x 2）
  L／R･･･500 mVrms／10 kΩ以上
AUDIO INPUT（INPUT5用）
  ピンジャック（x 2）
  L／R･･･500 mVrms／10 kΩ以上

■ PDA-5004

入出力端子
映像系
INPUT3
入力　S端子（ミニDIN4ピンコネクタ）
- Y／Cセパレート映像信号
  Y･･･ 1 Vp-p/75 Ω/同期負
  C･･･ 0.286 Vp-p/75 Ω（NTSC）
  0.3 Vp-p/75 Ω（PAL）

INPUT4
入力　RCA端子
- コンポジット映像信号
  1 Vp-p/75 Ω/同期負

出力　RCA端子
  75 Ω/バッファ内蔵

INPUT5
入力　RCA端子
- RGB信号（G ON SYNC対応）
  RGB･･･0.7 Vp-p/75 Ω/同期なし
  G ON SYNC･･･1 Vp-p/75 Ω/同期負
- コンポーネント映像信号
  Y･･･ 1 Vp-p/75 Ω/同期負
  P_B/C_B、P_R/C_R･･･
  0.7 Vp-p（カラー100 %）/75 Ω

音声系
入力　AUDIO INPUT（INPUT3用）
  ピンジャック（x 2）
  L／R･･･500 mVrms／10 kΩ以上
AUDIO INPUT（INPUT4用）
  ピンジャック（x 2）
  L／R･･･500 mVrms／10 kΩ以上
AUDIO INPUT（INPUT5用）
  ピンジャック（x 2）
  L／R･･･500 mVrms／10 kΩ以上

付属品
リモコンラベル 1
端子表示ラベル 1
ねじ 2
取扱説明書（CD-ROM） 1
スタートアップガイド 1
保証書 1

- 上記の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

付録1

ビデオ信号対応一覧表（INPUT1、INPUT5）　　（灰色）で表示されている画面は選べません。

垂直周波数 fv (Hz)	水平周波数 fH (kHz)	信号方式	表示画面サイズ					備　考
			DOT BY DOT	4:3	フル	ズーム	ワイド	
50	15.625	コンポーネント		○	○	○	○	625i(576i)/SDTV
		RGB		○	○	○	○	
	28.13	コンポーネント			○		○	1125i(1080i)/HDTV
		RGB			○		○	
	31.25	コンポーネント		○	○	○	○	625p(576p)/SDTV
		RGB		○	○	○	○	
	37.50	コンポーネント	○ *2		○		○	750p(720p)/HDTV
		RGB	○ *2		○		○	
	56.20	コンポーネント			○ *1			1125p(1080p)/HDTV
		RGB			○ *1			
	62.50	コンポーネント			○ *1			1250p/HDTV
		RGB			○ *1			
60	15.734	コンポーネント		○	○	○	○	525i(480i)/SDTV
		RGB		○	○	○	○	
	31.5	コンポーネント		○	○	○	○	525p(480p)/SDTV
		RGB		○	○	○	○	
	33.75	コンポーネント			○		○	1125i(1080i)/HDTV 1125i(1035i)/HDTV
		RGB			○		○	
	45.0	コンポーネント	○ *2		○		○	750p(720p)/HDTV
		RGB	○ *2		○		○	
	67.5	コンポーネント			○ *1			1125p(1080p)/HDTV
		RGB			○ *1			

＊1：接続されている機器との組み合わせによっては、画面に乱れなどが生じる場合があります。
＊2：PDP-607CMX/PDP-507CMX-JP

ビデオ信号対応一覧表（INPUT2）　　（灰色）で表示されている画面は選べません。

垂直周波数 fv (Hz)	水平周波数 fH (kHz)	信号方式	表示画面サイズ					備　考
			DOT BY DOT	4:3	フル	ズーム	ワイド	
50	28.13	RGB			○		○	1125i(1080i)/HDTV
	31.25	RGB		○	○	○	○	625p(576p)/SDTV
	37.50	RGB	○ *1		○		○	750p(720p)/HDTV
60	31.5	RGB		○	○	○	○	525p(480p)/SDTV
	33.75	RGB			○		○	1125i(1080i)/HDTV 1125i(1035i)/HDTV
	45.0	RGB	○ *1		○		○	750p(720p)/HDTV

＊1：PDP-607CMX/PDP-507CMX-JP

付録2

パソコン信号対応一覧表：PDP-607CMX/PDP-507CMX-JP（INPUT1、INPUT5）

（網掛け）で表示されている画面は選べません。

解像度（ドット×ライン）	垂直周波数	水平周波数	表示画面サイズ（ドットxライン）			備考
			DOT BY DOT	4:3	フル	
640x400	70.1 Hz	31.5 kHz	○ 640x480		○ 1365x768	NEC PC-9800
720x400	70.1 Hz	31.5 kHz	○ 720x400		○ 1365x768	NEC PC-9800
	85.1 Hz	37.9 kHz	↑		↑	
640x480	59.9 Hz	31.5 kHz	○ 640x480	○ 1024x768	○ 1365x768	
	66.7 Hz	35.0 kHz	↑	↑	↑	Apple Macintosh 13"
	72.8 Hz	37.9 kHz	↑	↑	↑	
	75 Hz	37.5 kHz	↑	↑	↑	
	85 Hz	43.3 kHz	↑	↑	↑	
	100.4 Hz	51.1 kHz	↑	↑	↑	I/O DATA
	120.4 Hz	61.3 kHz	↑	↑	↑	I/O DATA
848x480	60 Hz	31.0 kHz	○ 848x480		○ 1365x768	
852x480	60 Hz	31.7 kHz	○ 852x480		○ 1365x768	I/O DATA
800x600	56.3 Hz	35.2 kHz	○ 800x600	○ 1024x768	○ 1365x768	
	60.3 Hz	37.9 kHz	↑	↑	↑	
	72.2 Hz	48.1 kHz	↑	↑	↑	
	75 Hz	46.9 kHz	↑	↑	↑	
	85.1 Hz	53.7 kHz	↑	↑	↑	
	99.8 Hz	63.0 kHz	↑	↑	↑	I/O DATA
	120 Hz	75.7 kHz	↑	↑	↑	I/O DATA
832x624	74.6 Hz	49.7 kHz	○ 832x624	○ 1024x768	○ 1365x768	Apple Macintosh 16"
1024x768	60 Hz	48.4 kHz	◎ 1024x768		○ 1365x768	
	60 Hz	49.7 kHz	↑		↑	Work station (SGI)
	70.1 Hz	56.5 kHz	↑		↑	
	75 Hz (74.9 Hz)	60.0 kHz (60.2 kHz)	↑		↑	( )内はApple Macintosh 19"
	85 Hz	68.7 kHz	↑		↑	
	100.6 Hz	80.5 kHz	↑		↑	I/O DATA
	119.4 Hz	95.5 kHz	↑		↑	
1280x768	56.2 Hz	45.1 kHz	○ 1280x768		△ 1365x768	
	59.8 Hz	48 kHz	↑		↑	
	69.8 Hz	56 kHz	↑		↑	
1360x768	60 Hz	47.7 kHz	○ 1360x768		△ 1365x768	I/O DATA
1376x768	59.9 Hz	48.3 kHz			△ 1365x768	I/O DATA
1280x800	59.8 Hz	49.7 kHz			△ 1365x768	CVT
1280x854	60 Hz	53.1 kHz			△ 1365x768	PC
1152x864	60 Hz	53.7 kHz		△ 1024x768	△ 1365x768	
	72 Hz	64.9 kHz		↑	↑	
	75 Hz	67.5 kHz		↑	↑	
1152x870	75.1 Hz	68.7 kHz		△ 1024x768	△ 1365x768	Apple Macintosh 21"
1152x900	66 Hz	61.8 kHz		△ 1024x768	△ 1365x768	Sun Microsystems LO
	76 Hz	71.7 kHz		↑	↑	Sun Microsystems HI

解像度（ドット×ライン）	垂直周波数	水平周波数	表示画面サイズ（ドットxライン）			備考
			DOT BY DOT	4:3	フル	
1440x900	59.9 Hz	55.9 kHz			△ 1365x768	Apple Macintosh 17”
1280x960	60 Hz	60.0 kHz		△ 1024x768	△ 1365x768	
	85 Hz	85.9 kHz		↑	↑	
1280x1024	60 Hz	64.0 kHz		△ 960x768	△ 1365x768	Work station (SGI)
	60 Hz	64.6 kHz		↑	↑	Work station (EWS4800)
	71.2 Hz	75.1 kHz		↑	↑	Work station (EWS4800)
	72 Hz	78.1 kHz		↑	↑	Work station (HP)
	75 Hz	80.0 kHz		↑	↑	
	76.1 Hz	81.1 kHz		↑	↑	Work station (SUN)
	85 Hz	91.1 kHz		↑	↑	
	100.1 Hz	108.5 kHz		↑	↑	I/O DATA
1400x1050	60 Hz	65.3 kHz		△ 1024x768	△ 1365x768	
	75 Hz	82.3 kHz		↑	↑	
	85 Hz	93.9 kHz		↑	↑	
1680x1050	60 Hz	65.3 kHz			△ 1365x768	
1600x1200	60 Hz	75.0 kHz		△ 1024x768	△ 1365x768	
	65 Hz	81.3 kHz		↑	↑	
	70 Hz	87.5 kHz		↑	↑	
	75 Hz	93.8 kHz		↑	↑	
	85 Hz	106.3 kHz		↑	↑	
1920x1200	59.9 Hz	74.6 kHz			△ 1365x768	CVT
1920x1200RB	60 Hz	74.0 kHz			△ 1365x768	CVT

記号説明 ◎：最適な映像が得られます。「画面の調整」（位置、周波数、位相）が必要になる場合があります。
○：拡大映像のため、細かい情報が見にくくなります。
△：簡易表示です。細かい情報は再生されません。

パソコン信号対応一覧表：PDP-427CMX（INPUT1、INPUT5）

（網掛け）で表示されている画面は選べません。

解像度（ドット×ライン）	垂直周波数	水平周波数	表示画面サイズ（ドットxライン）			備考
			DOT BY DOT	4:3	フル	
640x400	70.1 Hz	31.5 kHz			○ 1024x768	NEC PC-9800
720x400	70.1 Hz	31.5 kHz			○ 1024x768	NEC PC-9800
	85.1 Hz	37.9 kHz			↑	
640x480	59.9 Hz	31.5 kHz		○ 768x768	○ 1024x768	
	66.7 Hz	35.0 kHz		↑	↑	Apple Macintosh 13"
	72.8 Hz	37.9 kHz		↑	↑	
	75 Hz	37.5 kHz		↑	↑	
	85 Hz	43.3 kHz		↑	↑	
	100.4 Hz	51.1 kHz		↑	↑	I/O DATA
	120.4 Hz	61.3 kHz		↑	↑	I/O DATA
848x480	60 Hz	31.0 kHz			○ 1024x768	
852x480	60 Hz	31.7 kHz			○ 1024x768	I/O DATA
800x600	56.3 Hz	35.2 kHz		○ 768x768	○ 1024x768	
	60.3 Hz	37.9 kHz		↑	↑	
	72.2 Hz	48.1 kHz		↑	↑	
	75 Hz	46.9 kHz		↑	↑	
	85.1 Hz	53.7 kHz		↑	↑	
	99.8 Hz	63.0 kHz		↑	↑	I/O DATA
	120 Hz	75.7 kHz		↑	↑	I/O DATA
832x624	74.6 Hz	49.7kHz		○ 768x768	○ 1024x768	Apple Macintosh 16"
1024x768	60 Hz	48.4 kHz	◎ 1024x768	○ 768x768		
	60 Hz	49.7 kHz	↑	↑		Work station (SGI)
	70.1 Hz	56.5 kHz	↑	↑		
	75 Hz (74.9 Hz)	60.0 kHz (60.2 kHz)	↑	↑		( )内はApple Macintosh 19"
	85 Hz	68.7 kHz	↑	↑		
	100.6 Hz	80.5 kHz	↑	↑		I/O DATA
	119.4 Hz	95.5 kHz	↑	↑		
1280x768	56.2 Hz	45.1 kHz			△ 1024x768	
	59.8 Hz	48 kHz			↑	
	69.8 Hz	56 kHz			↑	
1360x768	60 Hz	47.7 kHz			△ 1024x768	I/O DATA
1376x768	59.9 Hz	48.3 kHz			△ 1024x768	I/O DATA
1280x800	59.8 Hz	49.7 kHz			△ 1024x768	CVT
1280x854	60 Hz	53.1 kHz			△ 1024x768	PC
1152x864	60 Hz	53.7 kHz		△ 768x768	△ 1024x768	
	72 Hz	64.9 kHz		↑	↑	
	75 Hz	67.5 kHz		↑	↑	
1152x870	75.1 Hz	68.7 kHz		△ 768x768	△ 1024x768	Apple Macintosh 21"
1152x900	66 Hz	61.8 kHz		△ 768x768	△ 1024x768	Sun Microsystems LO
	76 Hz	71.7 kHz		↑	↑	Sun Microsystems HI

解像度（ドット×ライン）	垂直周波数	水平周波数	表示画面サイズ（ドットxライン）			備考
			DOT BY DOT	4:3	フル	
1440x900	59.9 Hz	55.9 kHz			△ 1024x768	Apple Macintosh 17"
1280x960	60 Hz	60.0 kHz		△ 768x768	△ 1024x768	
	85 Hz	85.9 kHz		↑	↑	
1280x1024	60 Hz	64.0 kHz		△ 720x768	△ 1024x768	Work station (SGI)
	60 Hz	64.6 kHz		↑	↑	Work station (EWS4800)
	71.2 Hz	75.1 kHz		↑	↑	Work station (EWS4800)
	72 Hz	78.1 kHz		↑	↑	Work station (HP)
	75 Hz	80.0 kHz		↑	↑	
	76.1 Hz	81.1 kHz		↑	↑	Work station (SUN)
	85 Hz	91.1 kHz		↑	↑	
	100.1 Hz	108.5 kHz		↑	↑	I/O DATA
1400x1050	60 Hz	65.3 kHz		△ 768x768	△ 1024x768	
	75 Hz	82.3 kHz		↑	↑	
	85 Hz	93.9 kHz		↑	↑	
1680x1050	60 Hz	65.3 kHz			△ 1024x768	
1600x1200	60 Hz	75.0 kHz		△ 768x768	△ 1024x768	
	65 Hz	81.3 kHz		↑	↑	
	70 Hz	87.5 kHz		↑	↑	
	75 Hz	93.8 kHz		↑	↑	
	85 Hz	106.3 kHz		↑	↑	
1920x1200	59.9 Hz	74.6 kHz			△ 1024x768	CVT
1920x1200RB	60 Hz	74.0 kHz			△ 1024x768	CVT

記号説明 ◎：最適な映像が得られます。「画面の調整」(位置、周波数、位相)が必要になる場合があります。
○：拡大映像のため、細かい情報が見にくくなります。
△：簡易表示です。細かい情報は再生されません。

付録3

ピュアシネマ対応一覧表(INPUT1、INPUT5)

（灰色）で表示されている画面は選べません。

垂直周波数 fv(Hz)	水平周波数 fH(kHz)	信号方式	ピュアシネマ		備　考
			しない	する	
50	15.625	コンポーネント	○	○	625i(575i)/SDTV
		RGB	○	○	
	28.13	コンポーネント	○	○	1125i(1080i)/HDTV
		RGB	○	○	
	31.25	コンポーネント			625p(575p)/SDTV
		RGB			
	37.50	コンポーネント			750p(720p)/HDTV
		RGB			
	56.25	コンポーネント			1125p(1080p)/HDTV
		RGB			
	62.50	コンポーネント			1250p/HDTV
		RGB			

垂直周波数 fv(Hz)	水平周波数 fH(kHz)	信号方式	ピュアシネマ しない	ピュアシネマ する	備　考
60	15.734	コンポーネント	○	○	525i(480i)/SDTV
		RGB	○	○	
	31.5	コンポーネント	○		525p(480p)/SDTV
		RGB	○		
	33.75	コンポーネント	○	○	1125i(1080i)/HDTV
		RGB	○	○	1125i(1035i)/HDTV
	45.0	コンポーネント	○		750p(720p)/HDTV
		RGB	○		
	67.5	コンポーネント	○		1125p(1080p)/HDTV
		RGB	○		

ピュアシネマ対応一覧表(INPUT2)

（網掛け）で表示されている画面は選べません。

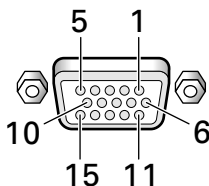
垂直周波数 fv(Hz)	水平周波数 fH(kHz)	信号方式	ピュアシネマ しない	ピュアシネマ する	備　考
50	28.13	RGB	○	○	1125i(1080i)/HDTV
	31.25	RGB			625p(575p)/SDTV
	37.50	RGB			750p(720p)/HDTV
60	31.5	RGB	○		525p(480p)/SDTV
	33.75	RGB	○	○	1125i(1080i)/HDTV 1125i(1035i)/HDTV
	45.0	RGB	○		750p(720p)/HDTV

ピュアシネマ対応一覧表(INPUT3、INPUT4)

（網掛け）で表示されている画面は選べません。

垂直周波数 fv(Hz)	水平周波数 fH(kHz)	信号方式	ピュアシネマ しない	ピュアシネマ する	備　考
50	15.625	コンポジット	○	○	625i(575i)/SDTV
		Sビデオ	○	○	
60	15.734	コンポジット	○	○	525i(480i)/SDTV
		Sビデオ	○	○	

付録4

INPUT1(ミニD-sub15ピンコネクタ:メス)ピン配列

ピンNo.	入力側	出力側
1	R	←
2	G	←
3	B	←
4	NC(未接続)	←
5	GND	←
6	GND	←
7	GND	←
8	GND	←
9	DDC +5V	NC(未接続)
10	GND	←
11	NC(未接続)	←
12	DDC SDA	NC(未接続)
13	HDまたは H/V SYNC	←
14	VD	←
15	DDC SCL	NC(未接続)

用語解説

アスペクト比
テレビ画面の幅と高さをアスペクト比と呼びます。通常のテレビでは4:3、ワイドテレビやハイビジョンテレビでは16:9です。

S端子(S VIDEO端子)
映像信号を輝度信号と色信号に分け、別々に伝送する端子のことです。コンポジット信号での入出力よりも再現性が優れています。

S映像信号
映像信号は、色を制御する色信号と明暗を制御する輝度信号の2種類で構成されています。これらの信号は、通常のビデオ機器では1つに組み合わせて「コンポジット信号」として扱われますが、S 映像信号ではそれぞれが分離しており、混成による信号の品質の低下がありません。

コンポーネント映像信号
Y.CBCR、Y.PBPR、Y.B-Y.R-Yなど、輝度信号と色差信号をそれぞれ単独の組み合わせで扱う映像信号の総称です。
単に「色差信号」と呼ぶこともあります。

G ON SYNC
RGB信号のうち緑(G)信号に同期信号が組み合わさった形の映像信号です。

VGA
「Video Graphics Array」の略称です。
通常は640×480の解像度を指します。

WVGA
「Wide Video Graphics Array」の略称です。
通常は848×480の解像度を指します。

XGA
「eXtended Graphics Array」の略称です。
通常は1024×768の解像度を指します。

WXGA
「Wide eXtend Graphics Array」の略称です。
通常は1280×768の解像度を指します。

SXGA
「Super eXtend Graphics Array」の略称です。
通常は1280×1024の解像度を指します。

SXGA+
「Super eXtend Graphics Array Plus」の略称です。
通常は1400×1050の解像度を指します。

DVI
「Digital Visual Interface」の略称です。
DDWG (Digital Display Working Group)が提唱したデジタルディスプレイ用のインターフェイス規格です。

HDCP
「High-bandwidth Digital Content Protection」の略称です。
HDCPは、Intel社によってコンテンツ保護を目的に開発されたデジタル画像信号の暗号化方式です。市販のAV機器(DVDプレーヤーなど)に搭載されたHDCP対応のDVI出力端子からの出力信号は、コンテンツ保護のためHDCP方式で暗号化さてれいます。

保証とアフターサービスについて

保証書(別に添付してあります)について

保証書は、必ず「取扱店名・購入日」などの記入を確かめ取扱店から受け取っていただき、内容をよくご確認のうえ、大切に保管してください。

保証期間と保証内容について

- **保証期間について**
  保証期間は、取扱説明書の注意に従った使用で、ご購入日より1年間です。詳細は保証書をご覧ください。
- **次のような場合には保証期間中および保証期間経過後にかかわらず、性能、動作の保証をいたしません。また、故障した場合の修理についてもお受けいたしかねます。**
  本機を改造して使用した場合、不正使用や使用上の誤りの場合または他社製品や純正以外の付属品と組み合わせて使用したときに、動作異常などの原因が本機以外にあった場合。
- **故障、故障の修理その他にともなう営業上の機会損失(逸失利益)は保証期間中および保証期間経過後にかかわらず補償いたしかねますのでご了承ください。**

補修用性能部品の保有期間

当社はこの製品の補修用性能部品を製造打切後8年間保有しています。

修理を依頼されるとき

もう一度、取扱説明書をよくお読みいただき、ご確認のうえ、なお異常のあるときには、必ず電源プラグを抜いてから、次の要領で修理を依頼してください。

お願い

故障内容によっては、製品全体を取り外すことが必要になります。その場合には、設置業者に依頼しなければサービスを行えない場合がありますのであらかじめご了承ください。

- **保証期間中は**
  万一、故障が生じたときは、保証書に記載されている当社無料修理規定に基づき修理いたします。アフターサービス連絡先または本機の取扱店にご相談ください。保証書の規定に従って修理いたします。

連絡していただきたい内容
- ご住所 ・ お名前 ・ お電話番号
- 製品名 ・ 製品型番 ・ ご購入日
- 故障または異常の内容(できるだけ詳しく)
- 訪問ご希望日
- 訪問先までの道順と目標(建物、公園など)

- **保証期間が過ぎているときは**
  アフターサービス連絡先または本機の取扱店にご相談ください。修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

アフターサービス連絡先

TEL ______________________

FAX ______________________

管理会社名 ______________________

担当者名 ______________________

所在地 ______________________

休日/夜間 PM________ ～ AM________

TEL ______________________